

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
107-134	高等学校	芸術	美術Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		

I. 編修の趣旨及び留意点

- 本教科書は教育基本法第一条に示す教育の目的及び第二条に示す教育の目標に則り、「高等学校学習指導要領第1章 総則」、及び「第2章 第7節 芸術」、「第2款 第5 美術Ⅱ」に示された趣旨並びに目標や内容を基にして編修に努めた。
- 本教科書の編修に当たっては、特に「高等学校としての美術の学びを実感し、美術を通して生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を養うことができる教科書」を目指し、以下の3事項を重視して新しい教科書を編修することを趣旨とした。

(1) 美術Ⅰとの学びの連続性がある教科書

- ・美術Ⅰの学習を踏まえ、主題の生成を重視し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成する学びを明確にした上で、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現、鑑賞の各題材ページを作成した。加えて、中学校からの美術の学習の基盤である形や色彩、イメージなどの〔共通事項〕に配慮して感じ取る視点や考える視点などを盛り込んだ。

(2) 高等学校美術としての学びが実感できる教科書

- ・高等学校の美術Ⅱとしての学びが実感できるように次のような工夫をした。
 - ①巻頭オリエンテーションの役割を明確にし、視点や発想の転換を意識して新たな見方や柔軟な思考を働かせながら教科書の各題材を学んでいけるようにした。
 - ②時代による絵画等の役割の変化と表現の意義などを考えさせるオリエンテーション、AIと美術表現について考えさせる FOCUS、美術の論考を読み作品の見方などを広げさせる鑑賞題材などを設定し、普遍的なものから最新の内容まで、幅広い観点から美術に対する見方や考え方が深まるようにした。
 - ③各題材に、学びの目標を短い言葉で分かりやすく記載すると共に、問いかけの言葉を基に考えたり対話したりすることで新たな視点に気づき、発想や鑑賞が深められるようにした。
 - ④対象や心の中を深く見つめる、作家の生き方と美術を考える、日本の美術作品や文化を理解するなど、高校生の発達に合った深みのある題材を配列した。

(3) 生活や社会と豊かに関わる力を育む教科書

- ・身近な生活の中にある物や場面、風景などを見つめ直したり、生活の中にあるデザインなどについて考えたりできるように、題材や FOCUS 等の設定、図版の選定に配慮した。特に憩いの場のデザインや行為を誘うデザインなど、国や時代を超えて生活に根づいているものから現代的なものまでを幅広く取り上げた。

- ・アートイベントをきっかけに美術がコミュニケーションの場をつくりだし、地域を変える事例を取り上げ、アートがもつ可能性を考えさせる巻末ページを設けるなど、生活や社会との関わりを幅広く意識できるように工夫した。

II. 編修の基本方針

○本教科書においては、教育基本法第二条に示される教育の目標を達成するために、七つの具体的な基本方針を定め、編修に努めた。

- ・二条第一号は①と②に、第二号は③に、第三号は④に、第四号は⑤に、第五号は⑥と⑦に対応している。

第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

○教科書編修に関する具体的な基本方針

①幅広い知識と教養を身に付ける

美術史的な観点から著名な作家や作品に配慮して作品を選択し、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現、鑑賞について幅広く学べるように各題材ページに加えて、オリエンテーションや特設ページ等を設定し、内容やバランスを考慮すると共に、美術史や技法等のページも充実を図った。

②豊かな情操と道徳心を培う

芸術としての美術の学びを重視し、表現することの意義や作者の心情などを理解できるように題材や記述内容を工夫した。これにより、自己や他者の考えや作品を大切にする心、よさや美しさを大切な価値とし、それを求めようとする心などが育成されることをねらいとした。

③個人の価値を尊重し、創造性を培い、勤労を重んずる態度を養う

主題の生成や作者の意図と表現の工夫を重視し、生徒が感性や創造性を発揮しながら自己の価値意識をもって表現や鑑賞ができるように題材や記述内容を工夫した。また、時間をかけて集中して制作に取り組む中で、努力することのよさや達成感が味わえるような授業を目指す教科書づくりに配慮した。

④正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力、社会形成に参画する態度を養う

鑑賞活動やコマ撮りアニメーションでの共同制作等において、他者との学び合いや話し合いの場を通して、学びの中から正義と責任、男女の平等、自他の敬愛を重んずる心情を培えるようにした。また、公共の場で用いられるデザインを考えることで、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるような題材を盛り込んだ。

⑤生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する

自然のよさや美しさを見つめ直したり、自然との共生や環境との調和から美術を考えたりする題材を設定し、自然を大切に、美しい環境を保全していく態度の形成に寄与する教科書づくりに配慮した。

⑥伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する

日本や西洋の美術の鑑賞題材の充実を図ると共に、特に日本美術を代表する絵巻物については大きな図版で示すと共に、やまと絵の作風を取り入れた現代画家の論考等を併せて読むことで、新たな視点や考えを深めながらよさが実感できるように充実させた。また、日本の伝統的な木彫と西洋の近代彫刻の影響を受けた高村光太郎の彫刻を取り上げ、継承することと時代に応じて創造することのよさなどを理解できるようにした。

⑦国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う

自己の表現と共に他者の表現も大切にしている心情や、自国の文化と共に他国の文化を尊重する態度などを育成することで、美術による人間理解や国際理解が深められ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことのできる内容にした。

Ⅲ. 対照表

○本教科書は学習指導要領に示されている内容の構成に基づき、生徒の学習のしやすさを考慮してオリエンテーション、絵画・彫刻（表現・鑑賞）、デザイン（表現・鑑賞）、映像メディア表現（表現・鑑賞）、資料に分類している。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や留意点	該当箇所
オリエンテーション	① 美術の表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の精神に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。 ② 書籍の言葉から、自由な発想ができる美術のよさに着目させると共に、鑑賞者も参加して作品を完成させる制作の手法から、個々の価値を尊重する中で創造性を培い自主自立の精神を養うことをねらいとして編修に努めた（第二号）。	①p. 2・3 ②p. 2・3
絵画・彫刻	① 美術の表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の精神に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。 ② 一人一人のよさや個性が尊重され、その能力を十分発揮する中で、相互に創造性を高め合うことができるような表現と鑑賞の活動を充実させた（第二号）。 ③ 自他を見つめ、それぞれの個性を尊重し生命を尊ぶ態度や、身近な環境や自然を見つめて美しさを発見し、環境の保全に寄与する態度を育む機会となる内容を設けた（第四号）。 ④ 日本や西洋の美術の鑑賞題材の充実を図り、西洋における時代による絵画等の役割の変化などを考えるオリエンテーションや、絵巻物などの日本美術の特質やよさを味わう題材を設け、我が国や諸外国の美術文化への理解が深まるように配慮した（第五号）。	①p. 4～43 ②p. 4～43 ③p. 6～11、18・19、20～23、42・43 ④p. 4・5、24～31

デザイン	<p>① 美術の表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の精神に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。</p> <p>② 檜垣万理子のデザインの考え方に触れることで、デザインを通して社会に貢献しようとするデザイナーの意識や姿勢を理解し、デザインの仕事に対する意識を高められるよう配慮した（第二号）。</p> <p>③ 身近な生活から広く社会全般を見つめ、課題を発見し、造形を通して課題を解決する能力を培うことは、社会正義と自らの責任を重んじ、主体的に社会の形成に参画しその発展に寄与する態度を養うことになる。デザインの表現と鑑賞の活動を通して、その能力を培えるよう配慮した（第三号）。</p> <p>④ 身近な環境や自然を見つめて美しさを発見し、造形に生かす力を培うとともに、環境の保全に寄与する態度を育めるよう配慮した（第五号）。</p>	<p>①p. 44～57</p> <p>②p. 50・51</p> <p>③p. 44～57</p> <p>④p. 56・57</p>
映像メディア表現	<p>① 美術の表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の精神に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。</p> <p>② 身近な生活から広く社会全般を見つめ、課題を発見し、造形を通して課題を解決する能力を培うことは、社会正義と自らの責任を重んじ、主体的に社会の形成に参画しその発展に寄与する態度を養うことになる。映像メディア表現の表現と鑑賞の活動を通して、その力を培えるよう配慮した（第三号）。</p>	<p>①p. 58～67</p> <p>②p. 64・65</p>
特設ページ (FOCUS)	<p>① 造形的な見方・考え方などに焦点を当てて学ぶことで、美術の本質や真理を求める態度を養うとともに、身近な生活に目を向けて造形や美術を豊かに感じ取ることをねらいとした課題を設けた（第一号）。</p>	<p>① p. 12・13 p. 52・53 p. 66・67</p>
資料	<p>① 我が国及び他国の美術文化の歴史を知ることは、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うと共に、我が国の伝統と文化を尊重し、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことに通じる。そのようなねらいをもって、時代や地域に焦点を当てて美術史に関する資料を設定した（第一号、第五号）。</p> <p>② 美術で用いる描画材料について知り、表現技術の習得に励むことは、人類の長い歴史の中で培われてきた知識や教養を身に付け、美や人間存在の探求という真理を求める態度を養うことに通じる。また、表現の多様性を知ること個人を尊重し、創造性を培うことに通じると考え、表現技法に関する資料を豊富に設定した（第一号、第二号）。</p> <p>③ 美術の活動は単に作品を表現したり鑑賞したりするだけではなく、美術で伝えたり美術がコミュニケーションの場をつくりだしたりするなど、生活や社会との関連を重視して美術の働きを幅広く捉えることができるよう配慮した（第二号）。</p>	<p>①p. 80～87</p> <p>②p. 68～79</p> <p>③p. 88・89</p>

IV. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 学習の課題を設置

- ・表現題材に具体的な表現課題を設置し、課題から生まれた生徒作品や生徒の言葉などを記載した。表現活動における発想や構想を参考にできるように努めた。

(2) 学習内容の関連を重視

- ・教科書を学習資料として一層使用しやすくし、生徒の学習効果が高まることを期待して、題材の内容や掲載している作家、作品などに関連する項目が他のページに掲載されている場合、関連ページを参照できるようにリンクを記載した。

(3) 主体的・対話的で深い学びの推進

- ・各題材に問いかけの言葉を設定し、ひらめきワードや学びの目標にその解決に結びつく気付かせたい視点や考え方、キーワードを盛り込むことで、見方・考え方を働かせて、主体的・対話的で深い学びが推進される中で、ねらいとする資質・能力が育成されるように工夫した。

(4) 他教科との関連を重視

- ・日本史や世界史などの教科書に掲載されている美術作家や作品、家庭科で取り上げられている住生活に関連するデザイン、評論など、他教科で取り上げられている内容を研究し、積極的に教科書の紙面に反映させることで、他教科との関連を図り、生徒の学びが一層深まるように配慮した。

(5) 言語能力の育成

- ・導入時に鑑賞活動を行い、生徒同士の意見交換が深まるよう、問いかけの言葉を投げかけ、見方・考え方を働かせながら話し合いを促すような工夫を凝らした。
- ・映像メディア表現の鑑賞題材では、制作者の思考や表現の工夫を言語と画像で分かりやすく掲載し、自分の考えを言語化し、伝えることの大切さとその技術について学べるよう配慮した。

(6) 社会との連携

- ・美術がつくりだす人のつながりや地域社会との関連を視野に入れた学習活動を紹介するページを設け、生徒の学習意欲が向上するように工夫した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
107-134	高等学校	芸術	美術Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		

I. 編修上特に意を用いた点や特色

○本教科書は「高等学校学習指導要領 第1章 総則」、及び「第2章 第7節 芸術」、「第2款 第5 美術Ⅱ」に示された趣旨並びに目標や内容を基にして、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することができるよう、以下の各項目において特に意を用いて編修した。

(1) 実態調査を基にした題材設定

- 幅広い創造活動を体験し、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験が深められるよう、全国で行われている授業の実態を調査し、取り組みやすい題材から応用的な題材まで、豊富な事例を用意した。
- ① 多くの学校で取り組まれている、鉛筆などの線を用いて表す題材では、線の強弱やタッチ、明暗などの描き方が異なる参考作品を複数提示し、主題と線の効果について考えられるようにした。また、アニメのような風景や錯視的な写真題材を提案するなど、高校生の関心や意欲を高めながら主題性のある表現を追求できるようにした。
- ② 授業で取り組みやすい風景画や静物画、人物画の指導を想定し、水、奥行きや空間、質感、動きや配置、画面の構成などの効果に視点を当てた題材ページを設定した。表現する際にそれらの視点を意識し、生かすことで主題がより追求されるように工夫した。

(2) 参考作品を幅広く豊富に掲載

- 生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育てられるよう、身近な内容から普遍的な価値をもつ美術作品まで幅広く掲載し、多方面から興味をもって学習に取り組めるよう留意した。
- ① 身近なものや人物、風景などを見つめ直す題材や、身の回りのデザインや自然を取り入れた建築を取り上げた題材など、身近な自然や生活の中から題材を設定し、生活や社会の中で美術を意識できるようにした。
- ② 西洋の著名な作家や日本の美術などについて、複数の図版や丁寧な解説を加えることにより、興味・関心や理解が深まるようにした。

(3) 明確な学びの視点と学習のねらい

- 造形的な見方・考え方を働かせ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」が育成できるよう、各題材に学びの目標等を明確に示し、生徒が具体的な学びの視点をもって学習に取り組めるよう留意した。

- ① 題材の本文で、主題と表現の工夫について考えさせるように問いかけ、ひらめきワードでヒントとなる造形的な視点を示すなど、造形的な見方・考え方などを働かせて、三つの柱で示された資質・能力が育成できるようにした。
- ② 各題材に、学びの目標として「知識及び技能に関する目標」「思考力、判断力、表現力等に関する目標」「学びに向かう力、人間性等に関する目標」を分かりやすく短い言葉で明確に示した。

(4) 美術史の充実

- ・美術文化についての理解を深められるよう、学習内容の参考となる美術作品を、美術史の長い歴史の中から精選し、掲載した。
 - ① 題材の参考作品を掲載する際に、美術史的な観点から著名な作家や作品に配慮して作品を選択した。
 - ② 日本や西洋の美術の鑑賞題材の充実を図り、西洋における絵画の役割や意義を考えるオリエンテーションや、絵巻物などの日本美術の特質やよさを味わう題材を設け、知識等を学びながら理解が深まるように図版や解説を充実させた。
 - ③ 巻末には、西洋と日本の現代につながる美術や、アジアの美術、近現代の日本の建築史などを取り上げ、美術史資料としてまとめた。時代や風土の違いなどによる表現の違いや共通点に着目しながら美術文化を捉え、見方や感じ方を深められるよう工夫した。

(5) 技法・色彩資料の充実

- ・高等学校において美術を学習する上で、身に付けておきたい材料や用具についての知識、表現技法などを、幅広く取り上げた。
 - ① 各題材を学習する上で必要になる固有な技法については、当該のページで解説し、材料用具の扱いや制作のプロセスなど、様々な表現の基礎的な内容となる技法については資料ページに掲載するなど、授業での使いやすさに配慮した。
 - ② 色彩について知識理解を深め活用するための資料を巻末にまとめた。色彩について体系的に理解できるように、PCCSの12色相環とトーン分類図を掲載した。色彩に関する資料ページは、片観音で本の外側に広げられるように設定し、どのページを学習していても、いつでも参照できるように工夫した。

(6) 学習意欲向上への工夫

- ・生徒が教科書を開くことに楽しみを覚え、高い意欲で学習に取り組めるよう、様々な工夫を施した。
 - ① 絵巻物を6ページ続きの両観音で開くページに掲載し、大きな図版で鑑賞することで場面が移り変わる中での人や馬、建物や炎などの細部の描き方などに着目し、作者の表現の工夫を読み取ることができるよう配慮した。また、やまと絵の作風を取り入れた現代画家の論考等を合わせて読むことで、新たな視点や考えを深めながら、そのよさについて実感をもって味わえるように工夫した。
 - ② 作品を掲載している作家の顔写真と言葉を掲載し、作家の考えに触れられるよう工夫した。
 - ③ 美術についての論考を掲載することで、美術に対する様々な考えを知り、自分にはなかった見方や考え方を学ぶことの楽しさに気付くように配慮した。

(7) 「美術が場や暮らしをつくりだす」

- ・この教科書の学びのまとめとして、美術の活動は単に作品を表現したり鑑賞したりするだけではなく、人のつながりやコミュニケーションの場などをつくりだし地域を変えるなど、社会の中の美術の働きや可能性を幅広く捉えることができるように巻末に例示した。

II. 対照表

学習指導要領の内容の構成			
領域	A 表現	事項	
		(1) 絵画・彫刻	<p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想 (ア) 自然や自己、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。 (イ) 主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能 (ア) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。</p>
		(2) デザイン	<p>ア 目的や機能などを考えた発想や構想 (ア) 目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成すること。 (イ) 社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能 (ア) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと</p>
	(3) 映像メディア表現	<p>ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想 (ア) 自然や自己、人と社会とのつながりなどを深く見詰め、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。 (イ) 映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。 イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能 (ア) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。</p>	
	B 鑑賞	(1) 鑑賞	<p>ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。 (イ) 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。 イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。 (イ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り、時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違点と共通点などから美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。</p>
[共通事項]		(1)	<p>ア 造形の要素の働きを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。</p>

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		内容			内容の取扱い	
		A 表現	B 鑑賞	[共通事項]		
オリエンテーション	視点を交える 発想を解き放つ		(1)ア(ア)	(1)アイ	(3)	p. 2・3
オリエンテーション	絵画の役割とは		(1)ア(ア) イ(イ)	(1)アイ	(3)	p. 4・5
(1)絵画・彫刻	人物の表現	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 6・7
	水のある情景を描く	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 8・9
	奥行きのある風景を描く	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 10・11
	FOCUS 視・触覚		(1)ア(ア)	(1)アイ	(3)	p. 12・13
	主題を追い求めて描く	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 14・15
	抽象画を描く	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 16・17
	植物を描く	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 18・19
	モネ「睡蓮」を読み解く		(1)ア(ア) イ(ア)(イ)	(1)アイ	(3)	p. 20～23
	日本美術の鑑賞 1		(1)ア(ア) イ(イ)	(1)アイ	(3)	p. 24～29
	日本美術の鑑賞 2		(1)ア(ア) イ(イ)	(1)アイ	(3)	p. 30・31
	線で表す	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 32・33
	版で表す	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 34・35
	作家探究 高村光太郎		(1)ア(ア) イ(イ)	(1)アイ	(3)	p. 36・37
	身の回りの物でつくる	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 38・39
創造の舞台裏 土屋仁応	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(ア) イ(イ)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 40・41	
立体表現の可能性		(1)ア(ア) イ(イ)	(1)アイ	(3)	p. 42・43	

オリエンテーション	問題を解決する発想の転換とは？		(1)ア(イ)	(1)アイ	(3)	p. 44・45
(2) デザイン	ポスターで表す	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(イ)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 46・47
	情報を伝えるデザイン	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(イ)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 48・49
	創造の舞台裏 檜垣万里子	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(イ)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 50・51
	FOCUS 行為を誘うデザイン		(1)ア(イ)	アイ	(1)(2)(3)	p. 52・53
	作家探究 チャールズ&レイ・イームズ		(1)ア(イ) イ(ア)(イ)	(1)アイ	(3)	p. 54・55
	緑化建築を見る		(1)ア(イ) イ(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 56・57
オリエンテーション	実写のよさ、CGのよさとは？		(1)ア(イ)	(1)アイ	(3)	p. 58・59
(3) 映像メディア表現	創造の舞台裏 山崎 貴	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(イ)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 60・61
	主題と写真表現	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(イ) イ(ア)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 62・63
	モーショングラフィックスで表す	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)	(1)ア(イ)	(1)アイ	(1)(2)(3)	p. 64・65
	FOCUS AI と人間		(1)ア(イ)	(1)アイ	(3)	p. 66・67
資料	コマ撮りアニメーション				(3)	p. 68・69
	人物紹介動画				(3)	p. 70・71
	チラシのデザイン				(3)	p. 72・73
	色彩（配色とトーン）				(3)	p. 74
	テンペラ画を描く				(3)	p. 75
	箔を使って日本画を描く				(3)	p. 76
	版画技法				(3)	p. 77
	基礎的な技法資料				(3)	p. 78・79
	現代美術を観る				(3)	p. 80・81
	現代につながる美術				(3)	p. 82・83
	アジアの美術				(3)	p. 84・85
近現代の日本の建築史				(3)	p. 86・87	
オリエンテーション	アートがもつ可能性		(1)イ(イ)	(1)アイ	(3)	p. 88・89

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
2・3	色を加えるペインティング（難民船）	写真						ユニフォトプレス
2	グレープフルーツ・ジュース	写真						講談社
4	インノケンティウス10世	絵						ユニフォトプレス
4	「カメラ・オブスクラ」を利用して描いている様子	絵						ユニフォトプレス
5	自画像	絵						ユニフォトプレス
5	6月（「ベリー公のいとも豪華なる時祷書」より）	絵						ユニフォトプレス
5	美しき女庭師	絵						ユニフォトプレス
5	緑のすじのあるマティス夫人	絵						ユニフォトプレス
5	無題	絵						ユニフォトプレス
6	径	絵						DNPアートコミュニケーションズ
6	径の小下絵①	絵						鉄樹
6	径の小下絵②	絵						鉄樹
6	径の小下絵③	絵						鉄樹
6	径の小下絵④	絵						鉄樹
6	径の小下絵⑤	絵						鉄樹
6	径の小下絵⑥	絵						鉄樹
7	春、1947	絵						ユニフォトプレス
7	ぼくの両親	絵						THE DAVID HOCKNEY FOUNDATION
7	手紙	絵						ユニフォトプレス
7	就寝前の卓上戦争	絵						山梨県立甲府第一高等学校
8・9	Sapphire	絵						守山友一朗
9	ラ・グルヌイエール	絵						ユニフォトプレス
9	奥入瀬の溪流	絵						東京都現代美術館
9	冬のベルリン	絵						ユニフォトプレス

10・11	春の到来 イースト・ヨークシャー、ウォルドゲート 2011年	絵					THE DAVID HOCKNEY FOUNDATION
10	雲立つ嶺	絵					メナード美術館
10	モンブリアンから見たサント=ヴィクトワール山	絵					ユニフォトプレス
11	オンフルールのバヴォール通り	絵					ユニフォトプレス
12	Pie Rows (部分)	絵					Paul Thiebaud Gallery
12	道路と土手と塀 (切通之写生) (部分)	絵					DNPアートコミュニケーションズ
12	乾魚 (部分)	絵					求龍堂
12	班猫 (部分)	絵					山種美術館
13	Pie Rows	絵					Paul Thiebaud Gallery
13	道路と土手と塀 (切通之写生)	絵					DNPアートコミュニケーションズ
13	乾魚	絵					求龍堂
13	班猫	絵					山種美術館
14	CARE	絵					今井 麗
14	REVENGE GAME	絵					今井 麗
15	今井 麗ポートレート	写真					今井 麗
15	MELODY	絵					今井 麗
15	BUTTER TOAST	絵					今井 麗
15	作品のモチーフ	写真					今井 麗
15	PARADISE	絵					今井 麗
16・17	グラント・バレーXIV	絵					Joan Mitchel Foundation
16	WHEN FIRE IS APPLIED TO A STONE IT CRACKS	絵					Brooklyn Museum
16	コンポジションVIII	絵					ユニフォトプレス
17	ホワイト・センター (ローズにイエロー、ピンク、 ラベンダー)	絵					ユニフォトプレス
18	農家の庭	絵					ユニフォトプレス
19	ずしの花	絵					田中一村記念美術館
19	アザミの花	絵					DNPアートコミュニケーションズ
19	紅白芙蓉図	絵					ColBase
19	ヒマワリ	絵					ユニフォトプレス

20	緑の反映（「睡蓮」大装飾画より） （部分）	絵						ユニフォトプレス
21-23	緑の反映（「睡蓮」大装飾画より）	絵						ユニフォトプレス
21	印象一日の出	絵						ユニフォトプレス
21	アトリエで取り組むモネ	写真						ユニフォトプレス
22	睡蓮①	絵						ユニフォトプレス
22	睡蓮②	絵						ユニフォトプレス
23	睡蓮、夕暮れの効果	絵						ユニフォトプレス
23	ジヴェルニーの庭	絵						ユニフォトプレス
24-29	平治物語絵巻 三条殿夜討巻	絵						ユニフォトプレス
30・31	テイルオブトーカー	絵						MIZUMA ART GALLERY
31	山口 晃ポートレート	写真						MIZUMA ART GALLERY
31	洛中洛外図屏風（舟木本）	絵						ColBase
31	へんな日本美術史（書影）	写真						祥伝社
32	War and Peace - Sleeping Woman	絵						ユニフォトプレス
33	Silent Music	絵						ユニフォトプレス
33	カブト虫	絵						豊島区立熊谷守一美術館
33	趣都（「『電柱でござる！』の巻 前編」より）	絵						MIZUMA ART GALLERY
34	Tea Party Song	絵						オフィス・ルカス
34	Tea Party Song（彩色前）	絵						オフィス・ルカス
35	屋外にいる7月のナンシーI	絵						ユニフォトプレス
35	屋外にいる7月のナンシーIV	絵						ユニフォトプレス
35	屋外にいる7月のナンシーVI：聖地の花々	絵						ユニフォトプレス
35	屋外にいる7月のナンシーIX：3月のパリ（チューリップ）	絵						ユニフォトプレス
35	帆船 午前	絵						広島県立美術館
35	帆船 午後	絵						広島県立美術館
35	帆船 夕	絵						広島県立美術館
35	帆船 夜	絵						広島県立美術館
35	色付きキャンベル・スープ缶①	絵						ユニフォトプレス

35	色付きキャンベル・スープ缶②	絵					ユニフォトプレス
35	色付きキャンベル・スープ缶③	絵					ユニフォトプレス
35	色付きキャンベル・スープ缶④	絵					ユニフォトプレス
36	高村光太郎ポートレート	写真					ユニフォトプレス
36	手	写真					日本写真印刷コミュニケーションズ
36	考える人	写真					ユニフォトプレス
37	老猿	写真					ColBase
37	栄螺	写真					メナード美術館
38	破壊されないオブジェ	写真					DNPアートコミュニケーションズ
38	自転車の車輪	写真					京都国立近代美術館
38	カプリ・バッテリー	写真					国立国際美術館
39	集積—目的地を求めて	写真					アトリエ塩田千春
39	旅	絵					アトリエ塩田千春
40	麒麟	写真					土屋仁応
41	始祖鳥	写真					土屋仁応
41	始祖鳥（部分）①	写真					土屋仁応
41	始祖鳥（部分）②	写真					土屋仁応
41	子羊	写真					土屋仁応
41	アトリエの前の鉢	写真					土屋仁応
42	アニマリス・レックス	写真					Media Force
42	動く脚関節の模型	写真					Media Force
42	関節の動きを曲線で表した図	絵					Media Force
43	彫刻のつくりかた	写真					MAHO KUBOTA GALLERY トゥルー
43	木をかじったビーバー	写真					MAHO KUBOTA GALLERY トゥルー
43	ビーバーがかじった木	写真					MAHO KUBOTA GALLERY トゥルー
43	彫刻家・竹野優美による模刻の様子	写真					MAHO KUBOTA GALLERY トゥルー
43	機械の自動切削の様子	写真					MAHO KUBOTA GALLERY トゥルー
43	AKI INOMATA ポートレート	写真					MAHO KUBOTA GALLERY トゥルー

45	広島市環境局中工場 内観	写真						広島市環境局中工場
45	広島市環境局中工場 外観	写真						広島市環境局中工場
45	フードロスレストランひろしま プロジェクトのイベント	写真						中国四国博報堂
46	水族館のポスター	絵						城下沙緒里
47	子どもの虐待防止ポスター 見えないフリ	絵						ACジャパン
47	One out-all down (ひとつが抜けると、すべてがく ずれるから) Blue	絵						LapizdeBits
47	地下鉄マナーポスター①	絵						メトロ文化財団
47	地下鉄マナーポスター②	絵						メトロ文化財団
48	マウリッツハイス美術館展ポスター①	絵						大溝 裕
48	マウリッツハイス美術館展ポスター②	絵						大溝 裕
48	マウリッツハイス美術館展ポスター③	絵						大溝 裕
48	マウリッツハイス美術館展ポスター④	絵						大溝 裕
49	企画展「骨と皮」チラシ (表)	絵						埼玉県立自然の博物館
49	企画展「骨と皮」チラシ (裏)	絵						埼玉県立自然の博物館
49	会社パンフレット	絵						アイムアンドカンパニー
49	展覧会ポスター	絵						長野県上田染谷丘高等学校
49	展覧会ダイレクトメール (表)	絵						長野県上田染谷丘高等学校
49	展覧会ダイレクトメール (裏)	絵						長野県上田染谷丘高等学校
50	観察スケッチ ペットボトル	絵						檜垣万里子
51	女性のイラスト	絵						檜垣万里子
51	2つのサイドポケットがあることを示す図版	絵						檜垣万里子
51	内側にファスナーが付いていることを示す図版	絵						檜垣万里子
51	首から提げるポーチ	絵						檜垣万里子
51	下着に直接収納袋	絵						檜垣万里子
51	あらゆる服に取り付けられる安全ピン	絵						檜垣万里子
51	両手で回すイラスト	絵						檜垣万里子
51	ストリングスピン	絵						檜垣万里子
51	水平スピン	絵						檜垣万里子

51	ヨーヨースピン①	絵						檜垣万里子
51	ヨーヨースピン②	絵						檜垣万里子
51	洗ったパッドをつるす	絵						檜垣万里子
51	蓋を閉めて外に出す	絵						檜垣万里子
51	ハンドスピントービン	絵						檜垣万里子
51	クッション	絵						檜垣万里子
51	枝につるすイラスト	絵						檜垣万里子
51	簡易洗濯機の試作①	写真						檜垣万里子
51	簡易洗濯機の試作②	写真						檜垣万里子
51	簡易洗濯機の試作③	写真						檜垣万里子
51	逆さづり	絵						檜垣万里子
51	二重構造	絵						檜垣万里子
51	バスケットの中にパッドをつるす	絵						檜垣万里子
51	ネオプレン素材のカバー	絵						檜垣万里子
51	密閉するクラス	絵						檜垣万里子
51	回転させる女性のイラスト	絵						檜垣万里子
51	物干し内蔵の洗濯機	写真						檜垣万里子
51	回転させる女性	写真						檜垣万里子
51	干している様子	写真						檜垣万里子
51	収納する様子	写真						檜垣万里子
51	月経用ナプキンのためのポーチ	写真						檜垣万里子
54	チャールズ&レイ・イームズ ポートレート	写真						EAMES OFFICE
54	イームズハウス	写真						EAMES OFFICE
55	レグ・スプリント	写真						EAMES OFFICE
55	イームズプライウッドラウンジチェア	写真						ハーマンミラー ジャパン
55	イームズワイヤーチェア	写真						ハーマンミラー ジャパン
55	イームズファイバーグラスシェルチェア	写真						ハーマンミラー ジャパン
55	イームズラウンジチェア・オットマン	写真						ハーマンミラー ジャパン

55	イームズハンダイトオール	写真					ハーマンミラー ジャパン
56・57	アクロス福岡	写真					SANKEI VISUAL
57	1995年に完成した頃のアクロス福岡	写真					エイ・エフ・ビル管理
57	新山口駅自由通路「垂直の庭」	写真					小学館
57	アミュプラザくまもと「ぼうけんの杜」	写真					野田東徳
57	京都生活工芸館無名舎 吉田家	写真					shutterstock
58・59	ゴジラ-1.0	写真					白組
60	現場で指揮を執る山崎監督	写真					白組
61	小船に迫るゴジラ	写真					白組
61	海上での撮影	写真					白組
61	CGのゴジラ	写真					白組
61	プリビズ制作	写真					白組
61	ゴジラが街中を破壊しながら 移動するカット（完成）	写真					東宝ステラ
61	ゴジラが街中を破壊しながら 移動するカット（グリーンバック）	写真					東宝ステラ
61	ゴジラが街中を破壊しながら 移動するカット（CG）	写真					東宝ステラ
61	ARアプリでの検証	写真					白組
62	『アニメのワンシーンのように。』より 「夏の記憶を巡る」シリーズ①	写真					Akine Coco
62	『アニメのワンシーンのように。』より 「夏の記憶を巡る」シリーズ②	写真					Akine Coco
62	『アニメのワンシーンのように。』より 「夏の記憶を巡る」シリーズ③	写真					Akine Coco
63	『本日の浮遊』シリーズより Today's Levitation 05/06/2011	写真					林ナツミ
63	ファッション写真	写真					島根県立美術館
63	ベタ踏み坂こと江島大橋	写真					境港管理組合
63	どこにも行き着かない階段	写真					WIKIMEDIA COMMONS
63	開けた先に空間があるだけの扉	写真					ガゾドス
63	くぐり抜ける山が無くなってしまった トンネル	写真					アフロ
64	JICA 海外協力隊募集動画 「求む、好奇心」①	写真					国際協力機構
64	JICA 海外協力隊募集動画 「求む、好奇心」②	写真					国際協力機構
64	JICA 海外協力隊募集動画 「求む、好奇心」③	写真					国際協力機構

64	JICA 海外協力隊募集動画 「求む、好奇心」④	写真						国際協力機構
65	大阪中之島美術館のモーションロゴ①	写真						世界
65	大阪中之島美術館のモーションロゴ②	写真						世界
65	大阪中之島美術館のモーションロゴ③	写真						世界
65	大阪中之島美術館のモーションロゴ④	写真						世界
65	大阪中之島美術館のモーションロゴ⑤	写真						世界
65	大阪中之島美術館のモーションロゴ⑥	写真						世界
65	制作中の3Dモデル①	写真						世界
65	制作中の3Dモデル②	写真						世界
65	大阪中之島美術館のロゴマーク	写真						directionQ
65	井口皓太ポートレート	写真						世界
65	【インフォグラフィックス】～名古屋城をもっと詳しく知る『数字』の話～①	写真						桜木 亮
65	【インフォグラフィックス】～名古屋城をもっと詳しく知る『数字』の話～②	写真						桜木 亮
65	【インフォグラフィックス】～名古屋城をもっと詳しく知る『数字』の話～③	写真						桜木 亮
65	【インフォグラフィックス】～名古屋城をもっと詳しく知る『数字』の話～④	写真						桜木 亮
65	【インフォグラフィックス】～名古屋城をもっと詳しく知る『数字』の話～⑤	写真						桜木 亮
66・67	Drone in Search for a Four-Leaf Clover －幸せの四葉のクローバーを探すドローン	写真						SwanSong
67	ドローンがゆっくりと飛行	写真						SwanSong
67	ドローンが映し出す映像	写真						SwanSong
67	AIによる解析	写真						SwanSong
74	印刷会社のキャンペーンのポスター	写真						DNPアートコミュニケーションズ
74	グラフィックデザインの今日展	写真						DNPアートコミュニケーションズ
74	日本舞踊公演のポスター	写真						国立劇場
74	HINAMATSURI	写真						coton design
74	PCCSトーン分類図	絵						日本色研事業
74	PCCSの12色相環	絵						日本色研事業
80	花束を投げる暴徒	写真						ユニフォトプレス

80	ママン	写真						ユニフォトプレス
80	無題No.1 (「The Yosemite Suite」より)	絵						THE DAVID HOCKNEY FOUNDATION
80・81	満天の桜が咲く日	写真						アートフロント ギャラリー
81	スタンディング・ウーマン	写真						十和田市現代美術館
81	生者の心における死の物理的な不可能性	写真						ユニフォトプレス
82	た、たぶん	絵						ユニフォトプレス
82	無題	写真						ユニフォトプレス
82	カットピース	写真						小山登美夫ギャラリー
82	位相一大地	写真						村井修 写真アーカイヴス
82	1つと3つの椅子	写真						ユニフォトプレス
82	ディナー・パーティー	写真						ユニフォトプレス
83	Tuttomondo	写真						ユニフォトプレス
83	だぶらかし (マルセル)	写真						高松市美術館
83	date. tron	写真						池田亮二スタジオ
83	My Bed	写真						ユニフォトプレス
83	Untitled (young man, if my wife makes it)	写真						GALLERY SIDE 2
83	Map of the World	写真						ユニフォトプレス
83	新星	写真						曹 斐
84	莫高窟の壁画 第249窟	写真						ユニフォトプレス
84	アヤ・ソフィア (外観)	写真						ユニフォトプレス
84	アヤ・ソフィア (室内)	写真						ユニフォトプレス
84	釈迦菩薩立像	写真						ColBase
84	秦始皇帝陵の兵馬俑	写真						ユニフォトプレス
84	蓮華手菩薩	写真						ユニフォトプレス
84	宮廷で客を迎える支配者	絵						DNPアートコミュニケーションズ
85	清明上河図巻	写真						ユニフォトプレス
85	墓主像	絵						ユニフォトプレス
85	文房図屏風	絵						倉敷民芸館

85	アンコール・ワット	写真						ユニフォトプレス
85	チャクラサンヴァラ 曼荼羅	写真						ユニフォトプレス
85	ボロブドゥル遺跡	写真						ユニフォトプレス
88・89	歩く方舟	写真						加藤晋平
88	赤かぼちゃ	写真						ユニフォトプレス
88	直島パヴィリオン	写真						直島町役場
88	島キッチン	写真						瀬戸内国際芸術祭 実行委員会事務局
88	空の粒子／唐櫃	写真						瀬戸内国際芸術祭 実行委員会事務局
89	男木島図書館（館内）	写真						男木島図書館
89	男木島図書館（情景）	写真						ディスカバー・ ジャパン
89	瀬戸内国際芸術祭2025開催地の地図	絵						瀬戸内国際芸術祭 実行委員会事務局

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	p. 3	二次元コード	自社	自社URL	トップページ	別紙1添付
2	p. 3	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品（全部見る）（関連資料）	別紙2添付
3	p. 7	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品 しぐさで内面を表そう（関連資料）	別紙3添付
4	p. 9	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品 水を効果的に生かして表そう（関連資料）	別紙4添付
5	p. 11	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品 奥行きを表し方を工夫して描こう（関連資料）	別紙5添付
6	p. 15	二次元コード	自社	自社URL	今井 麗についてほか（動画）	別紙6添付
		二次元コード	外部	https://www.ulalaimai.com/	今井 麗オフィシャルサイト	別紙6-1添付
7	p. 17	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品 日常の情景から目に見えないイメージを表そう（関連資料）	別紙7添付
8	p. 20	二次元コード	自社	自社URL	「睡蓮」の解説（動画）	別紙8添付
9	p. 21	二次元コード	自社	自社URL	モネ「睡蓮」を読み解く	別紙9添付
		二次元コード	外部	https://www.musee-orangerie.fr/fr/collectif/les-nymphes-de-claude-monet	オランジュリー美術館オフィシャルサイト	別紙9-1添付
10	p. 24	二次元コード	自社	自社URL	平治物語絵巻 三条殿夜討巻の全図を見よう（関連資料）	別紙10添付
11	p. 24	二次元コード	自社	自社URL	平治物語絵巻 三条殿夜討巻について（動画）	別紙11添付
12	p. 33	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品 線で表そう（関連資料）	別紙12添付
13	p. 35	二次元コード	自社	自社URL	版画の技法（動画）	別紙13添付
			自社	自社URL	台紙となる厚紙を切る（動画）	別紙13-1添付
			自社	自社URL	素材となる厚紙を切り置く場所を決める（動画）	別紙13-2添付
			自社	自社URL	台紙にスプレー糊をかける（動画）	別紙13-3添付
			自社	自社URL	様々な素材をコラージュする（動画）	別紙13-4添付
			自社	自社URL	素材の上から再びスプレー糊をかける（動画）	別紙13-5添付
			自社	自社URL	一度軽く丸めたアルミホイルに台紙を置く（動画）	別紙13-6添付
			自社	自社URL	アルミホイルと台紙をプレス機にかける（動画）	別紙13-7添付
			自社	自社URL	余分なアルミホイルを切って再度プレス機にかける（動画）	別紙13-8添付
			自社	自社URL	インクを準備する（動画）	別紙13-9添付
			自社	自社URL	ブラシで版に藍色のインクを塗る（動画）	別紙13-10添付
			自社	自社URL	版に塗られた凹部以外のインクを拭き取る（動画）	別紙13-11添付
			自社	自社URL	凸部に水色のインクをローラーで塗る（動画）	別紙13-12添付
			自社	自社URL	版に紙を置いてプレス機にかける（動画）	別紙13-13添付
			自社	自社URL	印刷した紙を乾かして完成（動画）	別紙13-14添付
			自社	自社URL	プリントクリーナーで版のインクを落とす（動画）	別紙13-15添付
			自社	自社URL	ピンク色のインクを準備する（動画）	別紙13-16添付
			自社	自社URL	版の凹部に藍色のインクを詰める（動画）	別紙13-17添付
			自社	自社URL	凸部にピンク色のインクをローラーで塗る（動画）	別紙13-18添付
			自社	自社URL	版に紙を置いてプレス機にかける（動画）	別紙13-19添付
			自社	自社URL	凸部のみにインクを塗ってプレスする（動画）	別紙13-20添付
			自社	自社URL	凹部のみにインクを塗ってプレスする（動画）	別紙13-21添付
			自社	自社URL	凸部にインクを塗ってバレンで刷る（動画）	別紙13-22添付
14	p. 36	二次元コード	自社	自社URL	コンテンツリスト	別紙14添付
		二次元コード	自社	自社URL	「手」（360度回転）	別紙14-1添付
		二次元コード	自社	自社URL	高村光太郎について（動画）	別紙14-2添付
15	p. 40	二次元コード	自社	自社URL	土屋仁忠インタビューほか（動画）	別紙15添付
		二次元コード	外部	https://yoshimasatsuchiya.com/	土屋仁忠オフィシャルサイト	別紙15-1添付
16	p. 42	二次元コード	自社	自社URL	アニマリス・レックス動画ほか（動画）	別紙16添付
		二次元コード	外部	https://theoiansen.net/	テオ・ヤンセンオフィシャルサイト	別紙16-1添付

17	p. 43	二次元コード	自社	自社URL	AKI INOMATAインタビュー ほか (動画)	別紙17添付
		二次元コード	外部	https://www.aki-inomata.com/	AKI INOMATAオフィシャルサイト	別紙17-1添付
18	p. 49	二次元コード	自社	自社URL	生徒作品 情報を伝えるデザインをしよう (関連資料)	別紙18添付
19	p. 50	二次元コード	自社	自社URL	檜垣万里子インタビュー ほか (動画)	別紙19添付
		二次元コード	外部	http://www.marikoproduct.com/	檜垣万里子オフィシャルサイト	別紙19-1添付
20	p. 54	二次元コード	自社	自社URL	チャールズ&レイ・イームズについて (動画)	別紙20添付
21	p. 60	二次元コード	自社	自社URL	山崎 貴インタビュー (動画)	別紙21添付
22	p. 64	二次元コード	自社	自社URL	JICA海外協力隊募集動画「求む、好奇心」 ほか (動画)	別紙22添付
23	p. 67	二次元コード	自社	自社URL	Drone in Search for a Four-Leaf Clover の動画 (動画)	別紙23添付
24	p. 67	二次元コード	自社	自社URL	Drone in Search for a Four-Leaf Clover について (動画)	別紙24添付
25	p. 68	二次元コード	自社	自社URL	イルカのジャンプ (動画)	別紙25添付
26	p. 69	二次元コード	自社	自社URL	テレビ画面ワープ法ほか (動画)	別紙26添付
27	p. 69	二次元コード	自社	自社URL	移動浮遊ほか (動画)	別紙27添付
28	p. 70	二次元コード	自社	自社URL	参考作品 西崎健司 紹介動画 ～ニックネームの表す人柄は?～ ほか (動画)	別紙28添付
		二次元コード	自社	自社URL	参考作品 絵コンテ (関連資料)	別紙28-1添付
29	p. 75	二次元コード	自社	自社URL	テンペラ画を描く 技法動画 (動画)	別紙29添付
			自社	自社URL	フォトフレームのボードに白亜塗料を塗る (動画)	別紙29-1添付
			自社	自社URL	サンドペーパーで表面を磨く (動画)	別紙29-2添付
			自社	自社URL	卵黄の中身を広口瓶に移す (動画)	別紙29-3添付
			自社	自社URL	卵黄の中身に酢と水を加えて静かに混ぜる (動画)	別紙29-4添付
			自社	自社URL	画用紙に下絵を描く (動画)	別紙29-5添付
			自社	自社URL	トレーシングペーパーに輪郭や大まかな明暗を写し取る (動画)	別紙29-6添付
			自社	自社URL	トレーシングペーパーの裏を鉛筆で塗る (動画)	別紙29-7添付
			自社	自社URL	下絵の線をボードに転写する (動画)	別紙29-8添付
			自社	自社URL	転写した下絵を薄めた墨汁で描き起こす (動画)	別紙29-9添付
			自社	自社URL	ハッチングにより大まかな陰影を付ける (動画)	別紙29-10添付
			自社	自社URL	顔料と卵テンペラメディウムで絵の具をつくる (動画)	別紙29-11添付
			自社	自社URL	下塗り1 (動画)	別紙29-12添付
			自社	自社URL	下塗り2 (動画)	別紙29-13添付
			自社	自社URL	下塗り3 (動画)	別紙29-14添付
			自社	自社URL	彩色に用いる絵の具を溶く (動画)	別紙29-15添付
			自社	自社URL	彩色1 (動画)	別紙29-16添付
			自社	自社URL	彩色2 (動画)	別紙29-17添付
			自社	自社URL	彩色3 (動画)	別紙29-18添付
			自社	自社URL	彩色4 (動画)	別紙29-19添付
			自社	自社URL	彩色5 (動画)	別紙29-20添付
			自社	自社URL	彩色6 (動画)	別紙29-21添付
			自社	自社URL	完成作品 (動画)	別紙29-22添付

30	p. 76	二次元コード	自社	自社URL	箔を使って日本画を描く 技法動画 (動画)	別紙30添付
			自社	自社URL	ドウサ液をぬるま湯で約4倍に薄める (動画)	別紙30-1添付
			自社	自社URL	薄めたドウサ液を色紙に塗って下地をつくる (動画)	別紙30-2添付
			自社	自社URL	箔から薄紙を箔箸で剥がす (動画)	別紙30-3添付
			自社	自社URL	あかし紙を箔の角に合わせて密着させる (動画)	別紙30-4添付
			自社	自社URL	箔押しする部分にドウサ液を塗る (動画)	別紙30-5添付
			自社	自社URL	箔押しする (動画)	別紙30-6添付
			自社	自社URL	余分な箔を払う (動画)	別紙30-7添付
			自社	自社URL	箔の上に薄めたドウサ液を塗って乾かす (動画)	別紙30-8添付
			自社	自社URL	構図を決めて下絵を描く (動画)	別紙30-9添付
			自社	自社URL	下絵をトレーシングペーパーに写し取る (動画)	別紙30-10添付
			自社	自社URL	線画を箔押しした色紙に転写する (動画)	別紙30-11添付
			自社	自社URL	転写した線を骨描きする (動画)	別紙30-12添付
			自社	自社URL	色の濃淡を墨で描く (動画)	別紙30-13添付
			自社	自社URL	胡粉で下塗りする (動画)	別紙30-14添付
			自社	自社URL	日本画絵の具で彩色する1 (動画)	別紙30-15添付
			自社	自社URL	日本画絵の具で彩色する2 (動画)	別紙30-16添付
			自社	自社URL	細部を描き込んで仕上げる1 (動画)	別紙30-17添付
			自社	自社URL	細部を描き込んで仕上げる2 (動画)	別紙30-18添付
			自社	自社URL	完成作品 (動画)	別紙30-19添付
31	p. 77	二次元コード	自社	自社URL	版画の技法 技法動画 (動画)	別紙31添付
			自社	自社URL	台紙となる厚紙を切る (動画)	別紙31-1添付
			自社	自社URL	素材となる厚紙を切り置く場所を決める (動画)	別紙31-2添付
			自社	自社URL	台紙にスプレー糊をかける (動画)	別紙31-3添付
			自社	自社URL	様々な素材をコラージュする (動画)	別紙31-4添付
			自社	自社URL	素材の上から再びスプレー糊をかける (動画)	別紙31-5添付
			自社	自社URL	一度軽く丸めたアルミホイルに台紙を置く (動画)	別紙31-6添付
			自社	自社URL	アルミホイルと台紙をプレス機にかける (動画)	別紙31-7添付
			自社	自社URL	余分なアルミホイルを切って再度プレス機にかける (動画)	別紙31-8添付
			自社	自社URL	インクを準備する (動画)	別紙31-9添付
			自社	自社URL	ブラシで版に藍色のインクを塗る (動画)	別紙31-10添付
			自社	自社URL	版に塗られた凹部以外のインクを拭き取る (動画)	別紙31-11添付
			自社	自社URL	凸部に水色のインクをローラーで塗る (動画)	別紙31-12添付
			自社	自社URL	版に紙を置いてプレス機にかける (動画)	別紙31-13添付
			自社	自社URL	印刷した紙を乾かして完成 (動画)	別紙31-14添付
			自社	自社URL	プリントクリーナーで版のインクを落とす (動画)	別紙31-15添付
			自社	自社URL	ピンク色のインクを準備する (動画)	別紙31-16添付
			自社	自社URL	版の凹部に藍色のインクを詰める (動画)	別紙31-17添付
			自社	自社URL	凸部にピンク色のインクをローラーで塗る (動画)	別紙31-18添付
			自社	自社URL	版に紙を置いてプレス機にかける (動画)	別紙31-19添付
			自社	自社URL	凸部のみにインクを塗ってプレスする (動画)	別紙31-20添付
			自社	自社URL	凹部のみにインクを塗ってプレスする (動画)	別紙31-21添付
			自社	自社URL	凸部にインクを塗ってバレンで刷る (動画)	別紙31-22添付
32	p. 77	二次元コード	自社	自社URL	版画技法 2 色違いの作品 (関連資料)	別紙32添付
33	p. 78	二次元コード	自社	自社URL	直方体・円筒形・球体を描く タイムラプス動画 (動画)	別紙33添付
34	p. 78	二次元コード	自社	自社URL	表情のある手を描こう タイムラプス動画 (動画)	別紙34添付

35	p. 78	二次元 コード	自社	自社URL	静物デッサン 技法動画 (動画)	別紙35添付
			自社	自社URL	構図を考えながらスケッチする (動画)	別紙35-1添付
			自社	自社URL	画面に中心線を引く (動画)	別紙35-2添付
			自社	自社URL	デッサン用スケールで確認しながら描く (動画)	別紙35-3添付
			自社	自社URL	位置や形を確かめ修正する (動画)	別紙35-4添付
			自社	自社URL	始めのうちは柔らかめの鉛筆で描く (動画)	別紙35-5添付
			自社	自社URL	絵を逆さにして形を確認する (動画)	別紙35-6添付
			自社	自社URL	絵を遠くから見て全体を確認する (動画)	別紙35-7添付
			自社	自社URL	全体に陰影を付ける (動画)	別紙35-8添付
			自社	自社URL	長い直線を引きガラス瓶の質感を出す (動画)	別紙35-9添付
			自社	自社URL	練りゴムでガラス瓶にハイライトを入れる (動画)	別紙35-10添付
			自社	自社URL	ティッシュで反射光の柔らかな光を表現する (動画)	別紙35-11添付
			自社	自社URL	リンゴを描き進める (動画)	別紙35-12添付
			自社	自社URL	ティッシュの箱を描き進める (動画)	別紙35-13添付
			自社	自社URL	ガラス瓶を描き進める (動画)	別紙35-14添付
			自社	自社URL	丸みを意識してリンゴを仕上げる (動画)	別紙35-15添付
			自社	自社URL	しわの質感を意識してティッシュの箱を仕上げる (動画)	別紙35-16添付
			自社	自社URL	細部を修正する (動画)	別紙35-17添付
36	p. 78	二次元 コード	自社	自社URL	石膏デッサン 技法動画 (動画)	別紙36添付
			自社	自社URL	規定で画面に中心線を取る (動画)	別紙36-1添付
			自社	自社URL	デッサン用スケールで全体を確認する (動画)	別紙36-2添付
			自社	自社URL	測り棒と測り糸で長さや垂直を確認しながら描く (動画)	別紙36-3添付
			自社	自社URL	形を確かめながら明暗を付ける (動画)	別紙36-4添付
			自社	自社URL	絵を遠くに置いて全体を確認する (動画)	別紙36-5添付
			自社	自社URL	形を調整しながら大まかな明暗を描く (動画)	別紙36-6添付
			自社	自社URL	明暗の強弱を捉えて描く (動画)	別紙36-7添付
			自社	自社URL	形を面で捉え細部を描き込む (動画)	別紙36-8添付
			自社	自社URL	細部の明暗を調整する (動画)	別紙36-9添付
			自社	自社URL	全体に調整を加える (動画)	別紙36-10添付
			自社	自社URL	ティッシュやガーゼで調子を弱める (動画)	別紙36-11添付
			自社	自社URL	細部を仕上げる (動画)	別紙36-12添付
			自社	自社URL	棒状に丸めた練りゴムで広範囲の調子を落とす (動画)	別紙36-13添付
			自社	自社URL	練りゴムで軽くたたいて調子を落とす (動画)	別紙36-14添付
			自社	自社URL	全体を確認して細部を修正する (動画)	別紙36-15添付
			自社	自社URL	細部を描き込み完成させる (動画)	別紙36-16添付
			自社	自社URL	フィキサチーフで定着させる (動画)	別紙36-17添付
37	p. 78	二次元 コード	自社	自社URL	シルクスクリーン 技法動画 (動画)	別紙37添付
			自社	自社URL	合成ゴム系接着剤をラッカー薄め液で溶く (動画)	別紙37-1添付
			自社	自社URL	木枠に接着剤を塗る (動画)	別紙37-2添付
			自社	自社URL	アイロンを使って木枠に紗を貼る (動画)	別紙37-3添付
			自社	自社URL	脂肪分を除くために洗剤で洗う (動画)	別紙37-4添付
			自社	自社URL	第二原画用紙のかすれやムラを補正する (動画)	別紙37-5添付
			自社	自社URL	温水で溶いた感光剤に乳液を混ぜてよく攪拌する (動画)	別紙37-6添付
			自社	自社URL	感光剤をバケツでスクリーンに塗る (動画)	別紙37-7添付
			自社	自社URL	感光器にポジ原画とスクリーンをセットして露光する (動画)	別紙37-8添付
			自社	自社URL	感光していない部分をしっかり洗う (動画)	別紙37-9添付
			自社	自社URL	図柄の周囲にガムテープを貼る (動画)	別紙37-10添付
			自社	自社URL	ベニヤ板の中敷きにTシャツを着せる (動画)	別紙37-11添付
			自社	自社URL	インクを準備する (動画)	別紙37-12添付
			自社	自社URL	枠下辺に多めにインクを置く (動画)	別紙37-13添付
			自社	自社URL	スキージーでインクを詰める (動画)	別紙37-14添付
			自社	自社URL	乾かしたTシャツにアイロンをかける (動画)	別紙37-15添付
			自社	自社URL	スクリーンを水で洗う (動画)	別紙37-16添付

38	p. 78	二次元 コード	自社	自社URL	エッチング 技法動画 (動画)	別紙38添付
			自社	自社URL	銅板の裏面に防食シートを貼る (動画)	別紙38-1添付
			自社	自社URL	銅板の4辺をヤスリで斜めに削る (動画)	別紙38-2添付
			自社	自社URL	傷がある場合は耐水ペーパーで磨く (動画)	別紙38-3添付
			自社	自社URL	金属磨きで仕上げる (動画)	別紙38-4添付
			自社	自社URL	液体グラウンドを版面に流して引く (動画)	別紙38-5添付
			自社	自社URL	乾燥させた銅板を熱して定着させる (動画)	別紙38-6添付
			自社	自社URL	カーボン紙で下絵を転写する (動画)	別紙38-7添付
			自社	自社URL	ニードルで輪郭線を描く (動画)	別紙38-8添付
			自社	自社URL	定規を使って直線を描く (動画)	別紙38-9添付
			自社	自社URL	モチーフの質感を表現する線を描く (動画)	別紙38-10添付
			自社	自社URL	腐食させたくない部分を黒ニスで保護する (動画)	別紙38-11添付
			自社	自社URL	腐食液に浸ける際の取っ手を付ける (動画)	別紙38-12添付
			自社	自社URL	銅板を腐食液に10~15分浸ける (動画)	別紙38-13添付
			自社	自社URL	腐食後の銅板を水洗いする (動画)	別紙38-14添付
			自社	自社URL	醤油を垂らして腐食を止め、再び水洗いする (動画)	別紙38-15添付
			自社	自社URL	グラウンドを灯油で落とす (動画)	別紙38-16添付
			自社	自社URL	リグロインで拭いて仕上げる (動画)	別紙38-17添付
			自社	自社URL	刷り紙を適切な大きさに切る (動画)	別紙38-18添付
			自社	自社URL	刷り紙をビニールにくるみ一晩置く (動画)	別紙38-19添付
			自社	自社URL	腐食した版の溝にゴムベラでインクを詰める (動画)	別紙38-20添付
			自社	自社URL	丸めた寒冷紗で凸部のインクを大まかに拭き取る (荒拭き) (動画)	別紙38-21添付
			自社	自社URL	紙と丸めた寒冷紗で凸部のインクをしっかりと拭き取る (仕上げ) (動画)	別紙38-22添付
			自社	自社URL	プレス機で印刷する (動画)	別紙38-23添付
			自社	自社URL	刷り上がり (動画)	別紙38-24添付
			自社	自社URL	刷り紙を水張りして乾かす (動画)	別紙38-25添付
39	p. 78	二次元 コード	自社	自社URL	塑造 (そぞう) 技法動画 (動画)	別紙39添付
			自社	自社URL	土台をつくる (動画)	別紙39-1添付
			自社	自社URL	指の部分の芯をつくる (動画)	別紙39-2添付
			自社	自社URL	手のひらのベースと指の形をつくる (動画)	別紙39-3添付
			自社	自社URL	大まかに粘土を付ける (動画)	別紙39-4添付
			自社	自社URL	筋やしわのアタリを付ける (動画)	別紙39-5添付
			自社	自社URL	筋肉の質感を意識しながら粘土を付ける (動画)	別紙39-6添付
			自社	自社URL	手のひらのバランスを整える (動画)	別紙39-7添付
			自社	自社URL	骨や関節を捉えながら指に粘土を付ける (動画)	別紙39-8添付
			自社	自社URL	角度を調節して余分な粘土を落とす (動画)	別紙39-9添付
			自社	自社URL	自分の手を確認しながら粘土を付ける (動画)	別紙39-10添付
			自社	自社URL	不自然な部分や粘土の多い部分を削いで修正する (動画)	別紙39-11添付
			自社	自社URL	しわやその周辺の盛り上がった筋肉を付ける (動画)	別紙39-12添付
			自社	自社URL	腕のバランスを整える (動画)	別紙39-13添付
			自社	自社URL	しわの部分から形の変わり目を捉える (動画)	別紙39-14添付
			自社	自社URL	指先や爪を成形する (動画)	別紙39-15添付
			自社	自社URL	手のひらや関節を成形する (動画)	別紙39-16添付
			自社	自社URL	手相の線をなじませる (動画)	別紙39-17添付
			自社	自社URL	手の側面のしわを付ける (動画)	別紙39-18添付
			自社	自社URL	細部の微調整1 (動画)	別紙39-19添付
			自社	自社URL	細部の微調整2 (動画)	別紙39-20添付
			自社	自社URL	完成作品 (動画)	別紙39-21添付

40	p. 78	二次元 コード	自社	自社URL	彫造 技法動画（動画）	別紙40添付
			自社	自社URL	側面のデッサンを入れて不要部分を切り落とす（動画）	別紙40-1添付
			自社	自社URL	上部のデッサンを入れて不要部分を切り落とす（動画）	別紙40-2添付
			自社	自社URL	デッサンの輪郭に合わせて切り込みを入れる（動画）	別紙40-3添付
			自社	自社URL	持ち手を残して不要部分を彫り落とす（動画）	別紙40-4添付
			自社	自社URL	彫り落とした木材にデッサンを補う（動画）	別紙40-5添付
			自社	自社URL	角を削りにぼしの形に近づける（動画）	別紙40-6添付
			自社	自社URL	デッサンを入れながらさらに削る（動画）	別紙40-7添付
			自社	自社URL	えらを彫る（動画）	別紙40-8添付
			自社	自社URL	口を彫る（動画）	別紙40-9添付
			自社	自社URL	目を彫る（動画）	別紙40-10添付
			自社	自社URL	体のねじれ具合を調整する（動画）	別紙40-11添付
			自社	自社URL	細部を調整する（動画）	別紙40-12添付
			自社	自社URL	持ち手を切り落として尾びれを彫る（動画）	別紙40-13添付
			自社	自社URL	表面の凹凸を彫る（動画）	別紙40-14添付
			自社	自社URL	溝やシワを彫る（動画）	別紙40-15添付
			自社	自社URL	尾びれの骨の筋を彫る（動画）	別紙40-16添付
			自社	自社URL	表面の凹凸を調整する（動画）	別紙40-17添付
			自社	自社URL	全体を微調整する（動画）	別紙40-18添付
			自社	自社URL	全体に白色を塗ってから背にオリーブ色を塗る（動画）	別紙40-19添付
			自社	自社URL	全体を塗り進める（動画）	別紙40-20添付
			自社	自社URL	鱗や肋骨などの筋を入れて皮の模様を塗る（動画）	別紙40-21添付
			自社	自社URL	再び筋を入れて細かい模様を描く（動画）	別紙40-22添付
			自社	自社URL	微調整を行い完成させる（動画）	別紙40-23添付
41	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	水彩画を描く 技法動画/タイムラプス動画（動画）	別紙41添付
			自社	自社URL	鉛筆で下絵を描く（動画）	別紙41-1添付
			自社	自社URL	マスキングをする（動画）	別紙41-2添付
			自社	自社URL	パレットに絵の具を多めにつくる（動画）	別紙41-3添付
			自社	自社URL	水を敷いてにじませる（動画）	別紙41-4添付
			自社	自社URL	塩を撒いてテクスチャをつける（動画）	別紙41-5添付
			自社	自社URL	ドライヤーでしっかりと乾かす（動画）	別紙41-6添付
			自社	自社URL	陰を描いて形を起こす（動画）	別紙41-7添付
			自社	自社URL	陰を濃く入れていく（動画）	別紙41-8添付
			自社	自社URL	混色を工夫して自然な緑色で描く（動画）	別紙41-9添付
			自社	自社URL	空気遠近法で遠近感を表現する（動画）	別紙41-10添付
			自社	自社URL	マスキングを除去して花を描く（動画）	別紙41-11添付
			自社	自社URL	道路の影を描く（動画）	別紙41-12添付
			自社	自社URL	最終調整（動画）	別紙41-13添付
			自社	自社URL	完成作品（動画）	別紙41-14添付
			自社	自社URL	ウォッシュ（動画）	別紙41-15添付
			自社	自社URL	バックラン（動画）	別紙41-16添付
			自社	自社URL	パチック（動画）	別紙41-17添付
			自社	自社URL	スクラッチ（動画）	別紙41-18添付
			自社	自社URL	グラデーション（動画）	別紙41-19添付
			自社	自社URL	ドライブラン（動画）	別紙41-20添付
			自社	自社URL	ウェットインウェット（動画）	別紙41-21添付
			自社	自社URL	ネガティブペインティング（動画）	別紙41-22添付
			自社	自社URL	塩を撒く（動画）	別紙41-23添付
			自社	自社URL	ドリッピング（動画）	別紙41-24添付

42	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	日本画を描く 技法動画（動画）	別紙42添付
			自社	自社URL	下絵をトレーシングペーパーに写し取る（動画）	別紙42-1添付
			自社	自社URL	トレーシングペーパーの線を和紙に転写する（動画）	別紙42-2添付
			自社	自社URL	和紙に転写した線を骨描きする（動画）	別紙42-3添付
			自社	自社URL	胡粉で地塗りをする（動画）	別紙42-4添付
			自社	自社URL	水干絵の具をすり潰し膠液で溶く（動画）	別紙42-5添付
			自社	自社URL	背景を2色の水干絵の具でグラデーションに塗る（動画）	別紙42-6添付
			自社	自社URL	水干絵の具で下塗りする（動画）	別紙42-7添付
			自社	自社URL	葉に複数の色を塗り重ね深みを出す（動画）	別紙42-8添付
			自社	自社URL	白い花卉を胡粉で下塗りする（動画）	別紙42-9添付
			自社	自社URL	掘り塗りする（動画）	別紙42-10添付
			自社	自社URL	たらし込みをする（動画）	別紙42-11添付
			自社	自社URL	水と胡粉で花卉を塗り重ねる（動画）	別紙42-12添付
			自社	自社URL	花の細部を描く（動画）	別紙42-13添付
			自社	自社URL	葉の細部を描く（動画）	別紙42-14添付
43	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	油彩画を描く 技法動画（動画）	別紙43添付
			自社	自社URL	構図を考えながらラフスケッチする（動画）	別紙43-1添付
			自社	自社URL	描きすぎないように下描きする（動画）	別紙43-2添付
			自社	自社URL	おつゆをつくる（動画）	別紙43-3添付
			自社	自社URL	おつゆ描きをする（動画）	別紙43-4添付
			自社	自社URL	全体感を意識しながら強い筆圧で描く（動画）	別紙43-5添付
			自社	自社URL	手前と奥を意識しながら描く（動画）	別紙43-6添付
			自社	自社URL	ペインティングナイフで背景を描く（動画）	別紙43-7添付
			自社	自社URL	布を用いて調子を整える（動画）	別紙43-8添付
			自社	自社URL	質感を意識しながら描く（動画）	別紙43-9添付
			自社	自社URL	リンゴの色を乗せていく（動画）	別紙43-10添付
			自社	自社URL	刷毛で全体をなじませる（動画）	別紙43-11添付
			自社	自社URL	境目を強くして存在感を出す（動画）	別紙43-12添付
			自社	自社URL	卓上の色調を考えて緑色を置く（動画）	別紙43-13添付
			自社	自社URL	卓上をさらに塗る（動画）	別紙43-14添付
			自社	自社URL	陶器の余分な絵の具をこそぎ落とす（動画）	別紙43-15添付
			自社	自社URL	毛糸玉の位置を変更する（動画）	別紙43-16添付
			自社	自社URL	背景の色彩を豊かにする（動画）	別紙43-17添付
			自社	自社URL	卓上や瓶を描き込む（動画）	別紙43-18添付
			自社	自社URL	全体にハイライトを入れる（動画）	別紙43-19添付
			自社	自社URL	細い筆でラベルの文字を描く（動画）	別紙43-20添付
			自社	自社URL	境目の背景を強く描き瓶を際立たせる（動画）	別紙43-21添付
			自社	自社URL	陶器の質感を表現する（動画）	別紙43-22添付
			自社	自社URL	リンゴの輪郭に白を入れて浮き立たせる（動画）	別紙43-23添付
			自社	自社URL	リンゴと毛糸玉を仕上げる（動画）	別紙43-24添付
			自社	自社URL	モチーフと完成作品（動画）	別紙43-25添付
44	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	アクリル絵の具の可能性 タイムラプス動画ほか（動画）	別紙44添付
			自社	自社URL	透明水彩のように（プロセスPDF）（関連資料）	別紙44-1添付
			自社	自社URL	不透明水彩のように（プロセスPDF）（関連資料）	別紙44-2添付
			自社	自社URL	油絵の具のように（プロセスPDF）（関連資料）	別紙44-3添付
			自社	自社URL	色面分割で（プロセスPDF）（関連資料）	別紙44-4添付
45	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	アクリルガッシュで平面構成をする タイムラプス動画ほか（動画）	別紙45添付
			自社	自社URL	アクリルガッシュで平面構成をする（プロセスPDF）（関連資料）	別紙45-1添付
46	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	豊かな混色表現 タイムラプス動画（動画）	別紙46添付

47	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	様々な表現技法 技法動画ほか（動画）	別紙47添付
			自社	自社URL	型紙の配置を決めてピンで止める（動画）	別紙47-1添付
			自社	自社URL	水分が多くなりすぎないように絵の具を溶く（動画）	別紙47-2添付
			自社	自社URL	ブラシを金網に擦り付けて絵の具を落とす（動画）	別紙47-3添付
			自社	自社URL	様々な色の絵の具を落とす（動画）	別紙47-4添付
			自社	自社URL	型紙を1枚だけ外して奥行きを表現する（動画）	別紙47-5添付
			自社	自社URL	失敗例1（絵の具の水分が多すぎる場合）（動画）	別紙47-6添付
			自社	自社URL	失敗例2（絵の具の量が多すぎる場合）（動画）	別紙47-7添付
			自社	自社URL	金網の自作方法（動画）	別紙47-8添付
			自社	自社URL	アート紙にクリアファイルを押し当てた作例（動画）	別紙47-9添付
			自社	自社URL	ケント紙にクリアファイルを押し当てた作例（動画）	別紙47-10添付
			自社	自社URL	画用紙にクリアファイルを押し当てた作例（動画）	別紙47-11添付
			自社	自社URL	3種類の紙による作例の比較（動画）	別紙47-12添付
			自社	自社URL	アクリル板（塩ビ板）に紙を押し当てた作例（動画）	別紙47-13添付
			自社	自社URL	凹凸のある物体と薄手の紙を用意する（動画）	別紙47-14添付
			自社	自社URL	色鉛筆で写し取る（動画）	別紙47-15添付
			自社	自社URL	クレヨンで写し取る（動画）	別紙47-16添付
			自社	自社URL	失敗例（紙が厚すぎる場合）（動画）	別紙47-17添付
			自社	自社URL	台紙の上に配置を検討した素材を貼る（動画）	別紙47-18添付
			自社	自社URL	その他の素材を配置して構想を練る（動画）	別紙47-19添付
			自社	自社URL	バットに入れた水に専用液を加えよく混ぜる（動画）	別紙47-20添付
			自社	自社URL	専用液に絵の具を浮かべる（動画）	別紙47-21添付
			自社	自社URL	模様をつくって紙に写し取る（動画）	別紙47-22添付
			自社	自社URL	スタンプ用の材料と絵の具を用意する（動画）	別紙47-23添付
			自社	自社URL	木・紙・段ボールでスタンプする（動画）	別紙47-24添付
			自社	自社URL	梱包材・寒冷紗・発泡スチロールでスタンプする（動画）	別紙47-25添付
			自社	自社URL	洗濯ばさみでスタンプする（動画）	別紙47-26添付
			自社	自社URL	クレヨンで厚めの台紙に下塗りする（動画）	別紙47-27添付
			自社	自社URL	黒のアクリルガッシュ絵の具で塗りつぶす（動画）	別紙47-28添付
			自社	自社URL	道具づくり（動画）	別紙47-29添付
			自社	自社URL	道具でアクリルガッシュ面を削り描画する（動画）	別紙47-30添付
			自社	自社URL	失敗例1（クレヨンが厚すぎる場合）（動画）	別紙47-31添付
			自社	自社URL	失敗例2（クレヨンが薄すぎる場合）（動画）	別紙47-32添付
			自社	自社URL	思い切りよく多く垂らす（動画）	別紙47-33添付
			自社	自社URL	筆を振り下ろし線状に垂らす（動画）	別紙47-34添付
			自社	自社URL	ぼたぼたと垂らす（動画）	別紙47-35添付
			自社	自社URL	筆を叩いて垂らす（動画）	別紙47-36添付
			自社	自社URL	全体のバランスを見てさらに垂らす（動画）	別紙47-37添付
			自社	自社URL	作品として切り取る場所を決める（動画）	別紙47-38添付
			自社	自社URL	解説 スパッタリング（関連資料）	別紙47-39添付
			自社	自社URL	解説 デカルコマニー（関連資料）	別紙47-40添付
			自社	自社URL	解説 フロッタージュ（関連資料）	別紙47-41添付
			自社	自社URL	解説 コラージュ（関連資料）	別紙47-42添付
			自社	自社URL	解説 マーブリング（関連資料）	別紙47-43添付
			自社	自社URL	解説 スタンプング（関連資料）	別紙47-44添付
			自社	自社URL	解説 スクラッチ（関連資料）	別紙47-45添付
			自社	自社URL	解説 ドリッピング（関連資料）	別紙47-46添付

48	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	編集で場面の意味を変える（動画）	別紙48添付
49	p. 79	二次元 コード	自社	自社URL	色立体 360度回転（360度回転）	別紙49添付
50	p. 81	二次元 コード	自社	自社URL	漫画家・山口つばさのペン入れを見よう（動画）	別紙50添付
51	p. 86	二次元 コード	自社	自社URL	掲載建築物の地図／建築家の資料（関連資料）	別紙51添付
			自社	自社URL	掲載建築物の地図（関連資料）	別紙51-1添付
			自社	自社URL	ジョサイア・コンドル（関連資料）	別紙51-2添付
			自社	自社URL	辰野金吾（関連資料）	別紙51-3添付
			自社	自社URL	片山東熊（関連資料）	別紙51-4添付
			自社	自社URL	伊東忠太（関連資料）	別紙51-5添付
			自社	自社URL	野口孫市（関連資料）	別紙51-6添付
			自社	自社URL	武田五一（関連資料）	別紙51-7添付
			自社	自社URL	ル・コルビュジエ（関連資料）	別紙51-8添付
			自社	自社URL	前川瓘夫（関連資料）	別紙51-9添付
			自社	自社URL	丹下健三（関連資料）	別紙51-10添付
			自社	自社URL	槇 文彦（関連資料）	別紙51-11添付
			自社	自社URL	黒川紀章（関連資料）	別紙51-12添付
			自社	自社URL	安藤忠雄（関連資料）	別紙51-13添付
			自社	自社URL	磯崎 新（関連資料）	別紙51-14添付
			自社	自社URL	原 広司（関連資料）	別紙51-15添付
			自社	自社URL	伊藤豊雄（関連資料）	別紙51-16添付
			自社	自社URL	山本理顕（関連資料）	別紙51-17添付
			自社	自社URL	隈 研吾（関連資料）	別紙51-18添付
			自社	自社URL	妹島和代（関連資料）	別紙51-19添付
52	p. 89	二次元 コード	自社	自社URL	アートがもつ可能性	別紙52添付
			外部	https://setouchi-artfest.jp/	瀬戸内国際芸術祭オフィシャルサイト	別紙52-1添付
53	表4	二次元 コード	自社	自社URL	「桜を放つ女性」の解説	別紙53添付

新・高校生の美術 2

オリエンテーション

P.3 目次 >

絵画・彫刻

P.6 人物の表現 >

P.8 水のある情景を描く >

P.10 奥行きのある風景を描く >

P.14 主題を追い求めて描く >

P.16 抽象画を描く >

P.20 モネ「睡蓮」を読み解く >

P.24 日本美術の鑑賞1 >

P.32 線で表す >

P.34 版で表す >

P.36 作家探究 高村光太郎 >

P.40 創造の舞台裏 土屋仁志 >

P.42 立体表現の可能性 >

デザイン

P.48 情報を伝えるデザイン >

P.50 創造の舞台裏 楳垣万里子 >

P.54 作家探究 チャールズ&レイ・イームズ >

映像メディア表現

P.60 創造の舞台裏 山崎 貴 >

P.64 モーショングラフィックで表す >

P.66 FOCUS AIと人間 >

技法資料

P.68 コマ撮りアニメーション >

P.70 人物紹介動画 >

P.75 テンペラ画を描く >

P.76 箔を使って日本画を描く >

P.77 版画の技法 >

P.78 基礎的な技法資料 >

美術資料

P.80 現代美術を観る >

P.86 近現代の日本の建築史 >

P.88 アートがもつ可能性 >

▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 > 人物の表現 > 生徒作品 しぐさで内面を表そう

生徒作品 しぐさで内面を表そう

生徒作品



【眺める】
 鉛筆・紙 / 51.5x36.4cm / 京成館
 「「白黒像」を、私は「己の肖像を想像したもの」と再定義し、顔に映る表情ではなく、過去を彷彿とさせるような、その行動を非道に表現した。想像に定まる「善」-「悪」の境界線と自己人評で作品を鑑賞する私の2つの立場が「現在」と「過去」との時間におけるが不明瞭だが、そこに生じた両者の距離が鑑賞者の解釈の幅を持たせる線となるように構築した。」



【眺め】
 油彩・キャンバス / 116.7x116.7cm / 東京都
 「この作品は、其の顔のやわらかさを表現したくて描きました。制作をするまでこだわったポイントはその顔と他の要素の動きです。使われる顔の表情とタッチを変えてみることで描き分けました。」



【向こう側】
 アルミド画板用紙・油彩・キャンバス / 90x72cm / 東京都
 「背にこだわったのは顔です。顔にはさまざまな色が混ざられるため、三原色と白を混ぜて色を作り、何度も塗り重ねました。光の具合で肌の色が変わるので、ハイライトや影の置き方も丁寧に確認しました。また、ペラッと薄い感じにしたいように、紙全体の透けさを見ました。色を重ねていくことは難しいですが、自分が思っているように顔に近づけるために試行錯誤することがとても楽しかったです。」



【祖母の傘】
 油彩・キャンバス / 65.2x43.5cm / 東京都
 「祖母と一緒に祖父の家の近くで働くので、その思い出を念を置いて表現することができて良かったです。」



【公平】の囁ひ
 油彩・キャンバス / 116.7x116.7cm / 東京都
 「それだけが持っている『公平』や『正義』などへの疑問は、決して悪いものではなく、ひとつの大事な意見だということも伝えたいです。」



【追憶】
 油彩・キャンバス / 91x72cm / 東京都
 「顔がたつにつれて曖昧になる記憶の厚さを白と黒を混ぜ、少しの赤を加えてここで表現しました。この題材となる写真を見たときは「こんな写真撮ってたんか」と思っていたんですが、もし自分が撮ったのは写真写真ばかりだったので、唯一の二人の思い出を綴り、とてもしました。」



【わたげの妹】
 油彩・キャンバス / 116.7x91cm / 津島川通
 「丸くきれいに笑っている妹の顔の輪郭を思て大事そうに持ち帰っている様子を描きました。丸い顔の輪郭を可愛らしくと印象を、背景では無数の可愛さを表現しました。柔らかい表情や質感を出すために、光が当たっているところには彩度の高い色を使いました。」



【勉強中の読感】
 油彩・キャンバス / 116.7x91cm / 津島川通
 「勉強中に天候などの情景に迷われる表情を表現しました。顔の力や目の動きにこだわりました。文庫は学校の図書室にある知識の本を参考にして描きました。」



【就寝前の卓上戦争】
 油彩・キャンバス / 116x116cm / 山梨県
 「一番身近な存在のため、とくにつつましいけれど、そこには様々な感情がある表情、そのラフな感じも表現。顔の表情を表現し、くまに描きました。」



【観る】
 アクリル・油彩・キャンバス / 45.5x38cm / 埼玉県
 「顔を透して自分を見つめ直し、自分の欠点ばかりを気にしている自分の状態と、これまであまりよく見えていなかった顔の多様性と自由な気づき。これを表現するために、自分の部分を、顔の中心と似たような三角形を用いて書くことで意識させ、不安定さを強調し、特に、顔の部分に彩度の高い暖色を用いて顔のコンプレックスを強調しました。顔に、真実を、多く見かけがちな顔になるよう、多くの色を用いて描きました。」



【ない。】
 アクリル・油彩・キャンバス / 45.5x38cm / 埼玉県
 「人が顔に出るなら、人様と呼べるような“その人らしさ”がなければ顔がない、いやいやと悪い顔を作りました。」

ご利用にあたって ▶ 推奨環境 ▶

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 主題を追い求めて描く > 今井 麗について ほか

今井 麗について ほか

インタビュー



【今井 麗について】

外部リンク

【今井 麗オフィシャルサイト】 >

≡

ULALA IMAI



LCN® 2022. oil on canvas. 152.3x112.4x25.0cm (40x40) Photo by Kiki Orange.

掲載 | アライバレーポスター | サイトマップ

02522

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 抽選作品を詳しく > 51作品 日中の情報から目に見えないイメージを表そう

生徒作品 日常の情景から目に見えないイメージを表そう

生徒作品

【在る】
藤原 4キャンパス/1987年/東京
「在る」を表現するために色と形を組み合わせ「在る」のイメージを表現しようとした。色と形を組み合わせることで、日常の情景から目に見えないイメージを表現しようとした。色と形を組み合わせることで、日常の情景から目に見えないイメージを表現しようとした。

【ロジック】
アノムラ・絵・目・キャンパス/1987年/東京
「ロジック」を表現するために色と形を組み合わせ「ロジック」のイメージを表現しようとした。色と形を組み合わせることで、日常の情景から目に見えないイメージを表現しようとした。色と形を組み合わせることで、日常の情景から目に見えないイメージを表現しようとした。

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > モネ「睡蓮」を読み解く > 「睡蓮」の解説

「睡蓮」の解説

新・高校生の美術 2 > モネ「睡蓮」を読み解く

モネ「睡蓮」を読み解く

資料映像

P.20 「睡蓮」の解説

外部リンク

P.21 オランジュリー美術館公式サイト

< もどる

Les Nymphéas de Claude Monet

Histoire du cycle des Nymphéas

Offerts par le peintre Claude Monet à la France le lendemain même de l'armistice du 11 novembre 1918 comme symbole de la paix, les Nymphéas sont installés dans un salon au musée de l'Orangerie en 1922, quelques mois après la mort. Ces œuvres ont été réalisées à Giverny, dans le département de l'Eure, en Normandie, entre 1899 et 1927.

Claude Monet, l'impressionniste du paysage

Né à Paris, Claude Monet grandit en Normandie dans la ville de Honfleur. C'est au contact du peintre Eugène Boudin (1824-1892) qu'il apprend la représentation de la nature en peinture. Il arrive à Paris en 1875 et entre dans l'atelier de Charles Gleyre (1805-1874) où il fait la connaissance des peintres Pierre-Paul Prud'hon (1798-1853), Alfred Sisley (1839-1899) et J.M.W. Turner (1775-1851).

平治物語絵巻 三条殿夜討巻 全図

下記の画像をタップすると拡大して見ることができます。



▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 日本美術の鑑賞1 > 平治物語絵巻 三条殿夜討巻について

平治物語絵巻 三条殿夜討巻について



【平治物語絵巻 三条殿夜討巻について】

▶ご利用にあたって ▶ 提出環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 線で表そう > 生徒作品 線で表そう

生徒作品 線で表そう

■ 生徒作品



【クラスメイトのクロッキー】
 コンテ・紙/50×31.5cm/東京都
 「体の曲線を意識して、自然に湧きあがったような姿勢の表現にこだわりました。」



【勉強する男子生徒】
 コンテ・紙/50×31.5cm/東京都
 「筆に輪郭のみを意識するのではなく、対象の存在感の方向、体の厚みと長さを描いたものを重ねるように心がけました。」



【後輩】
 コンテ・紙/53×37.8cm/東京都
 「顔よりも全身像をつのむことを意識した。顔に視線をうつことで軽やかな印象に仕上がったと思う。」



【無題】
 コンテ・紙/53×37.8cm/東京都
 「体の向きが伝わるように描いた。顔よりも線をスッキリと描くことができた。全身が動きあがるような大きさで描くのが楽しかった。」



【無題】
 コンテ・紙/53×37.8cm/東京都
 「なるべくシンプルな線で描けるように意識した。同じ角度で何回か確認したことによって、深く描けるようになった。」



別紙13-1



別紙13-2



別紙13-3



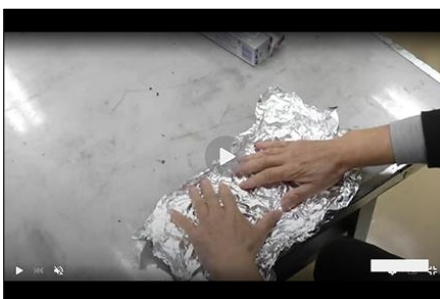
別紙13-4



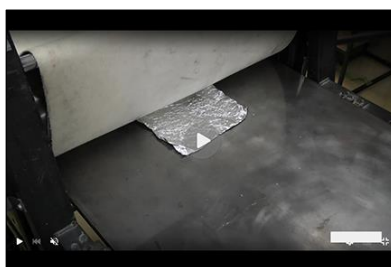
別紙13-5



別紙13-6



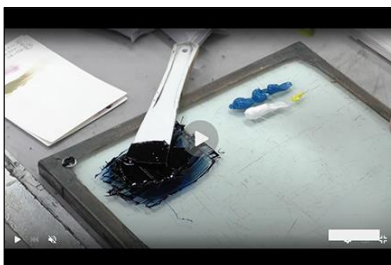
別紙13-7



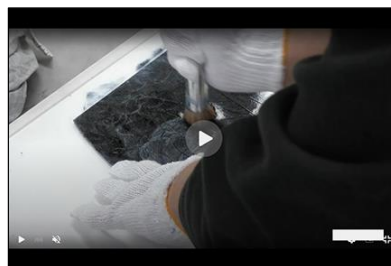
別紙13-8



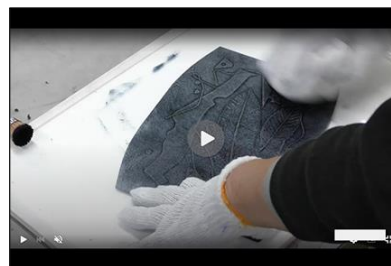
別紙13-9



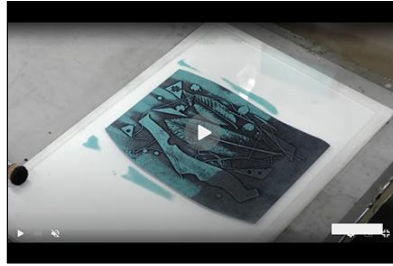
別紙13-10



別紙13-11



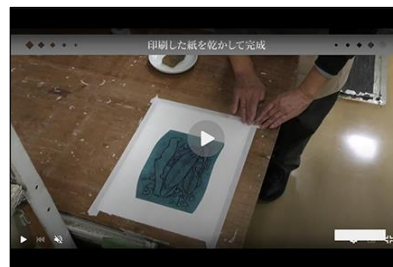
別紙13-12



別紙13-13



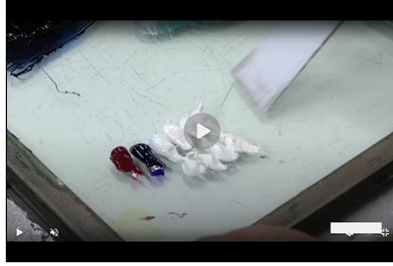
別紙13-14



別紙13-15



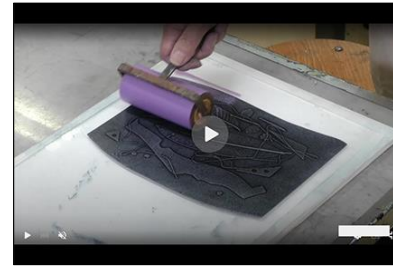
別紙13-16



別紙13-17



別紙13-18



別紙13-19



別紙13-20



別紙13-21



別紙13-22





ご利用にあたって ▶ 推奨環境 ▶

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 創造の舞台裏 土屋仁応 > 土屋仁応インタビュー ほか

土屋仁応インタビュー ほか

■ インタビュー




【土屋仁応インタビュー】

■ 外部リンク

【土屋仁応公式サイト】 >

YOSHIMASA TSUCHIYA



NEWS
WORKS
LINEUP
BIOGRAPHY
ARCHIVE
SOUVENIR COLLECTION
CONTACT
NEWS LETTER
©

ご利用にあたって ▶ 運営窓口

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 立体表現の可能性 > アニマリス・レックス動画 ほか

アニマリス・レックス動画 ほか

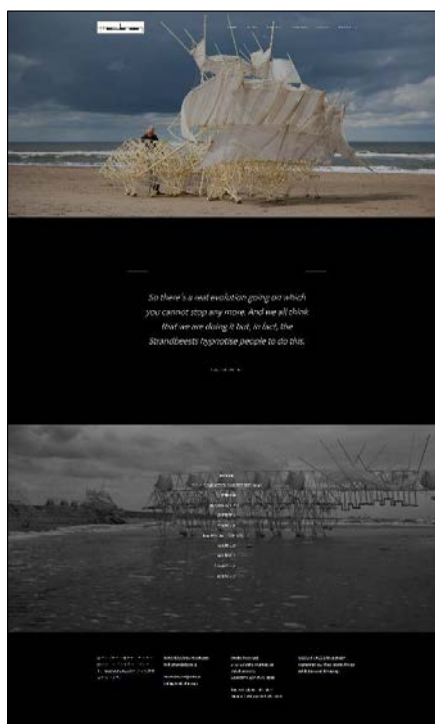
資料映像



[アニマリス・レックス動画]

外部リンク

[【テオ・ヤンセンオフィシャルサイト】](#) >



▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 立体表現の可能性 > AKI INOMATAインタビュー ほか

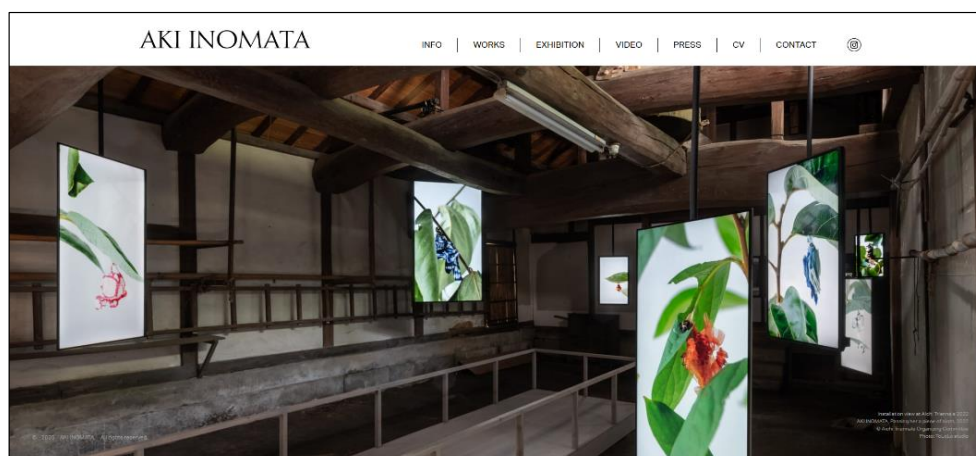
AKI INOMATAインタビュー ほか

インタビュー



外部リンク

[【AKI INOMATA公式サイト】](#) >



ご利用にあたって 掲載権限

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 情報を伝えるデザイン > 生徒作品 情報を伝えるデザインをしよう

生徒作品 情報を伝えるデザインをしよう

生徒作品



【ダイレクトメール】
14.9x21cm / 表紙用

2024年 3月1日 3月25日
開催 11:00 - 11:00 (18歳未満は10:00 - 10:00)
【観覧券ホスター】
12.9x15.5cm / 表紙用

ご利用にあたって 掲載権限

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 創造の舞台裏 榎垣万里子 榎垣万里子インタビュー ほか

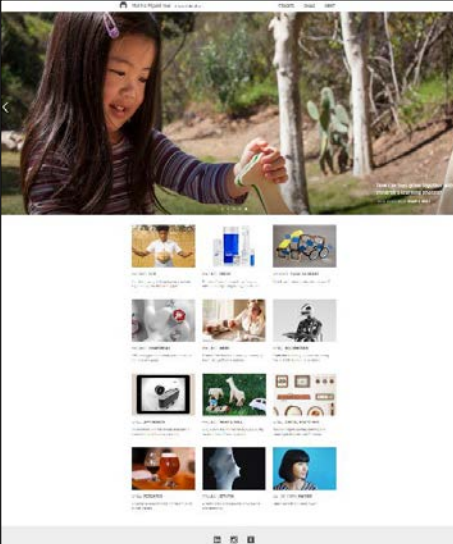
榎垣万里子インタビュー ほか

インタビュー



外部リンク

【榎垣万里子オフィシャルサイト】 >






▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > FOCUS AIと人間 > Drone in Search for a Four-Leaf Clover の動画

Drone in Search for a Four-Leaf Clover の動画



[Drone in Search for a Four-Leaf Clover の動画]

▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > FOCUS AIと人間 > Drone in Search for a Four-Leaf Clover について

Drone in Search for a Four-Leaf Clover について



[Drone in Search for a Four-Leaf Clover について]

ご利用にあたって 推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > コマ撮りアニメーション > イルカのジャンプ

イルカのジャンプ



【イルカのジャンプ】

ご利用にあたって 推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > コマ撮りアニメーション > テレビ画面ワープ法ほか

テレビ画面ワープ法ほか

資料映像



【テレビ画面ワープ法】



【ピクレーション 参考作品】

ご利用にあたって 推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > コマ撮りアニメーション > 移動浮遊ほか

移動浮遊ほか

資料映像



【移動浮遊】



▶ご利用にあたって ▶ 権限情報

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 人物紹介動画 > 参考作品 西崎健司 紹介動画 ～ニックネームの表す人柄は？～ ほか

参考作品 西崎健司 紹介動画 ～ニックネームの表す人柄は？～ ほか

資料映像




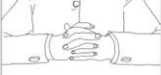



【参考作品 西崎健司 紹介動画 ～ニックネームの表す人柄は？～】

資料PDF

PDF (3.3MB) >

【参考作品 紹介動画】

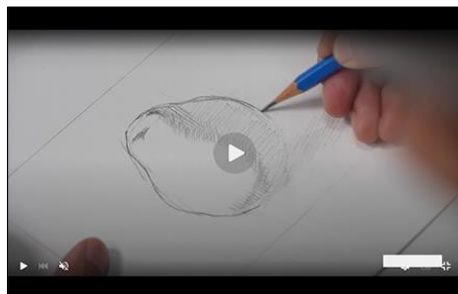
シーン	映像	内容
シーン1		西崎君の日常から紹介ビデオ
シーン2		西崎君の日常から紹介ビデオ
シーン3		西崎君の日常から紹介ビデオ
シーン4		
シーン5		



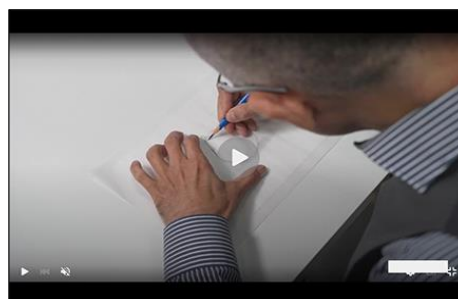
別紙29-4



別紙29-5



別紙29-6

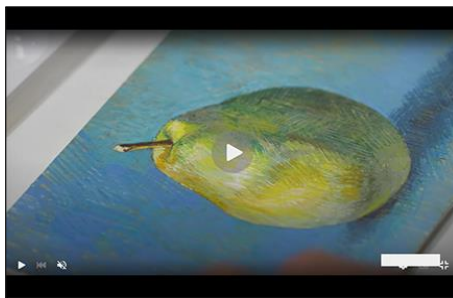


別紙29-7

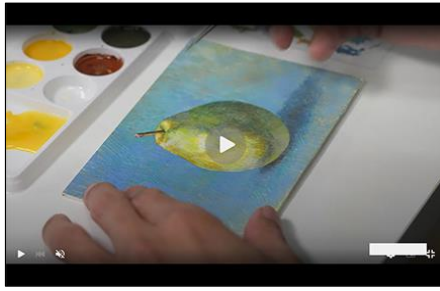








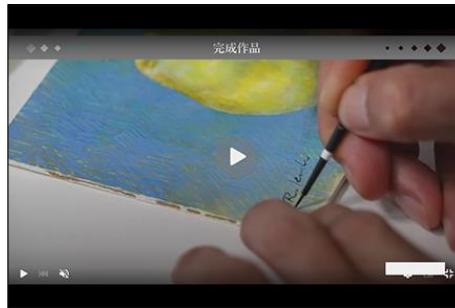
別紙29-20

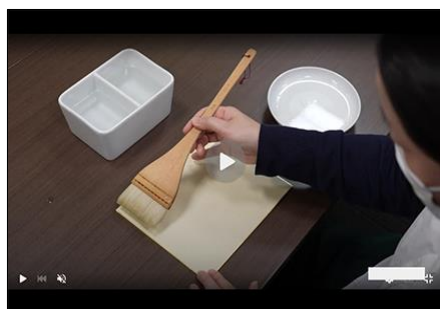


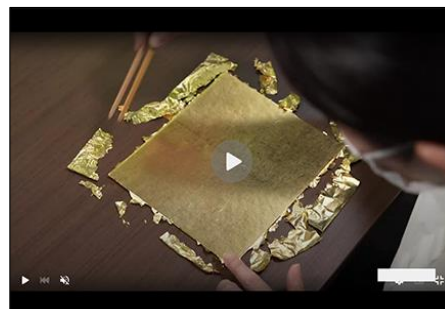
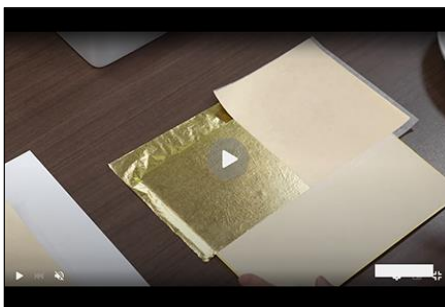
別紙29-21



別紙29-22







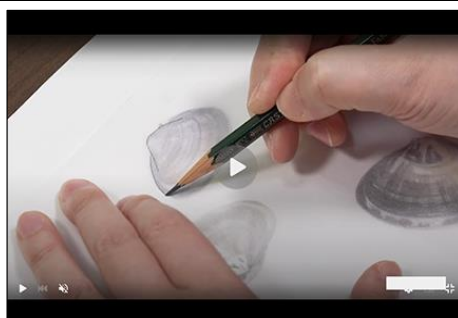
別紙30-8



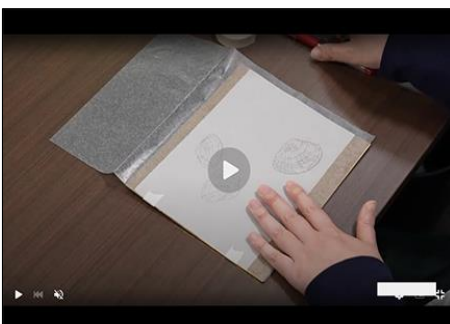
別紙30-9



別紙30-10



別紙30-11



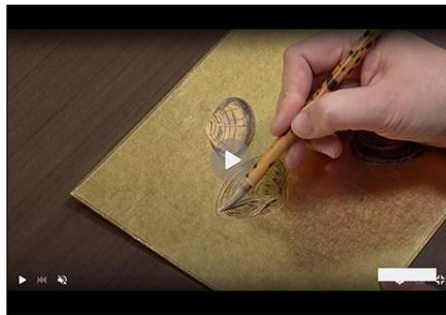
別紙30-12



別紙30-13



別紙30-14



別紙30-15



別紙30-16



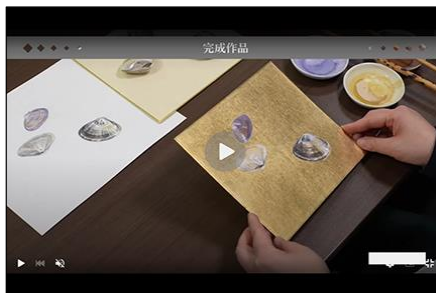
別紙30-17



別紙30-18



別紙30-19





別紙31-4



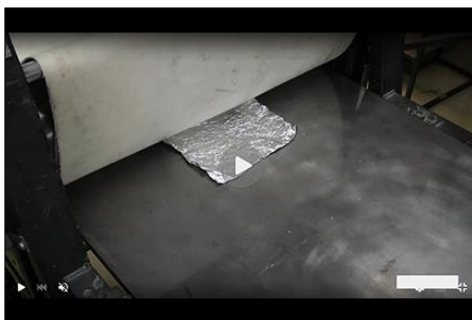
別紙31-5



別紙31-6



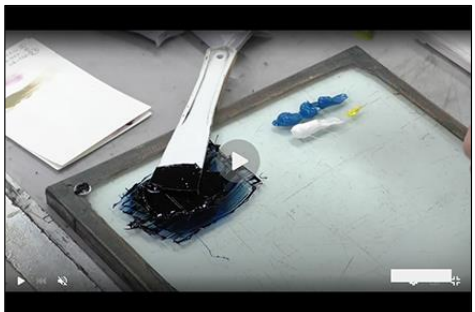
別紙31-7



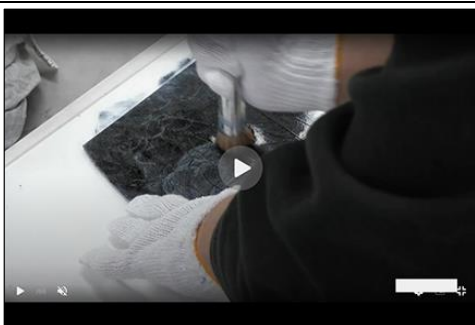
別紙31-8



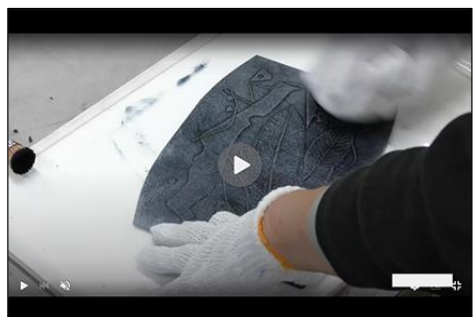
別紙31-9



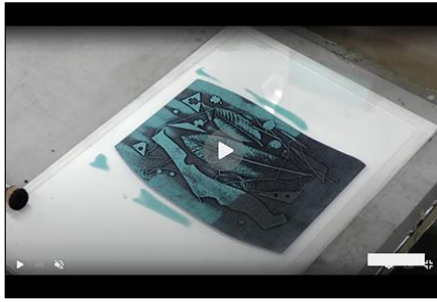
別紙31-10



別紙31-11



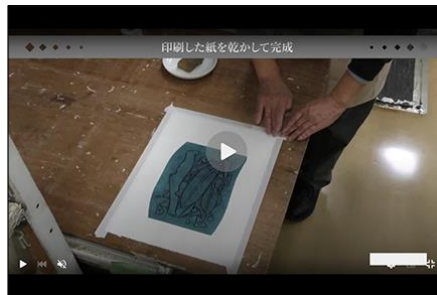
別紙31-12



別紙31-13



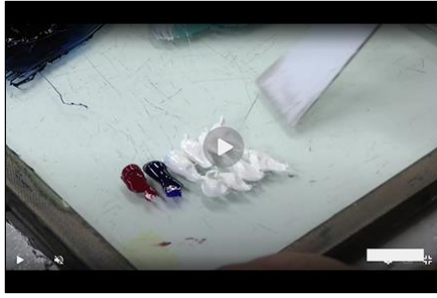
別紙31-14



別紙31-15



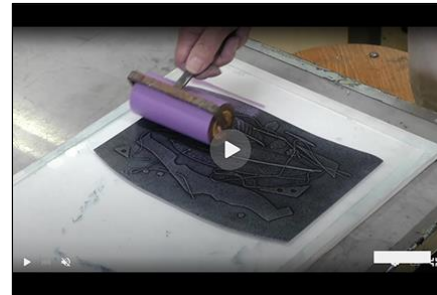
別紙31-16



別紙31-17



別紙31-18



別紙31-19



別紙31-20



別紙31-21



別紙31-22





< 印刷にあたって > > 印刷準備

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な練習資料 > 静物デッサン 技法動画

静物デッサン 技法動画

静物デッサンの目的は身近にあるものをしっかりと観察して描き、基本的な描写力を身に付けることである。観察が巧みでないとその難しさが分かる。数多く描き、観察する力を養おう。

技法動画

① スケッチする

形、色、質感の異なる3面のモチーフを選択し、構図を考えながら卓上に組み、スケッチする。



01. 構図を考えながらスケッチする

② 構図を決める

画面に中心線を引き、位置関係を測りながら各モチーフの位置や形をおおまかに取る。小さく取ってしまうと余白が広く構図が不安定になるため、バランスよくモチーフが取まるように、画面の大きさに対するモチーフの大きさを考え、構図を決める。



01. 画面に中心線を引き
02. デッサン用スケールで構図しおらる

③ 形を捉える

モチーフの形を確かめ、修正しながら、紙を動かさないように、要らぬ鉛筆で書き進めていく。



01. 位置や形を確かめ修正する
02. 線のうしろは要らぬ鉛筆で書く
03. 紙を動かさずして形を確認する
04. 線を消すから戻て全形を確認する

④ 陰影を付ける

光の方向を捉えて大きな陰影を付ける。顔面にこだわらず全体的に大切にして書く。



01. 光源に陰影を付ける

⑤ 質感を描く

各モチーフの質感を捉えて書き進める。モチーフの形に合わせて、線の重ね方やなど工夫して質感や量感を表す。



01. 強い遠縁をガラス瓶の質感を出す
02. 線がゴムでガラス瓶にハイライトを入れる
03. ティッシュで反射面の裏から光を表現する
04. リンゴを質感描める
05. ティッシュの質感を表現する

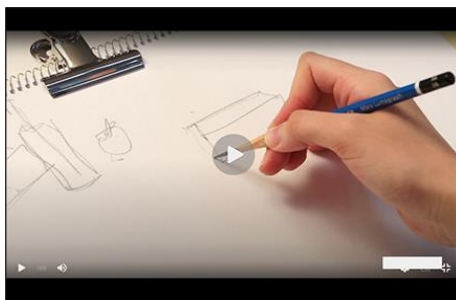
⑥ 完成



01. 丸みを整理してリンゴを仕上げ
02. 仕上げの質感を整理してティッシュの質感を上げる
03. 顔面を修正する

< メニュー >

別紙35-1



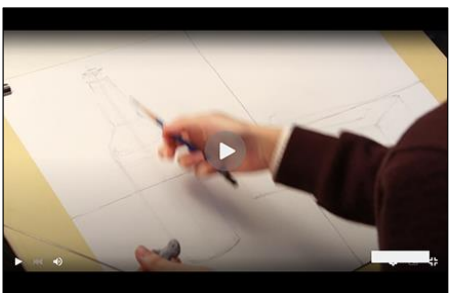
別紙35-2



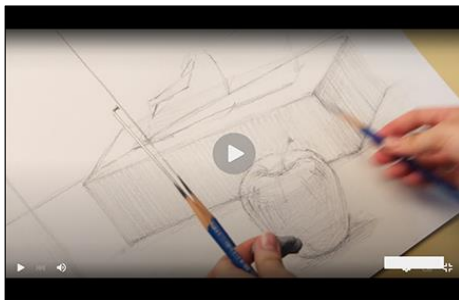
別紙35-3



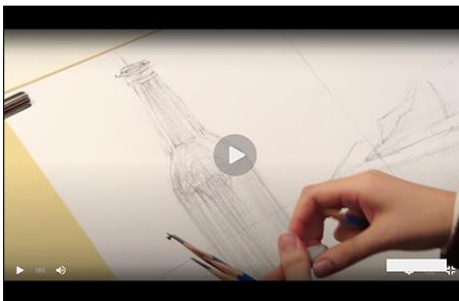
別紙35-4



別紙35-5



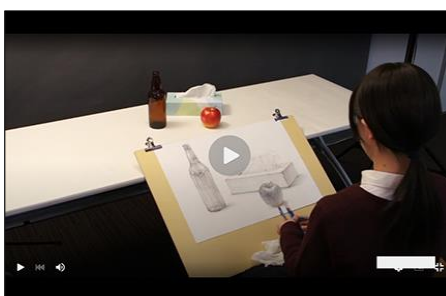
別紙35-6

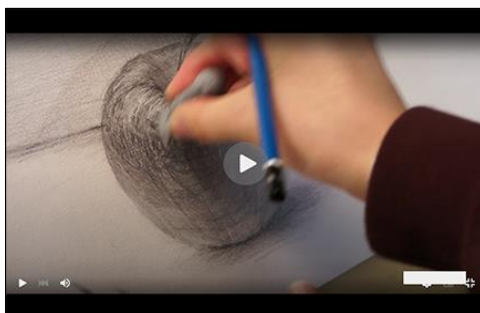


別紙35-7

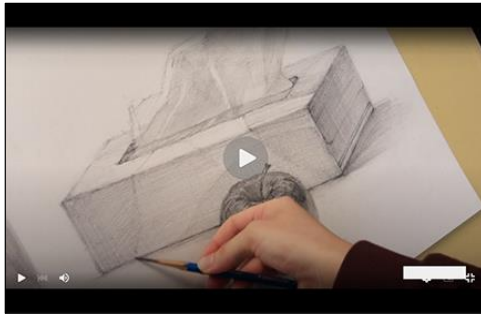


別紙35-8





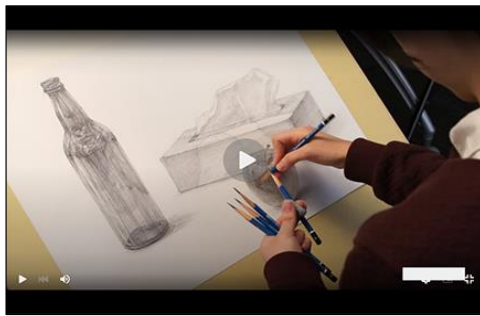
別紙35-13



別紙35-14



別紙35-15



別紙35-16



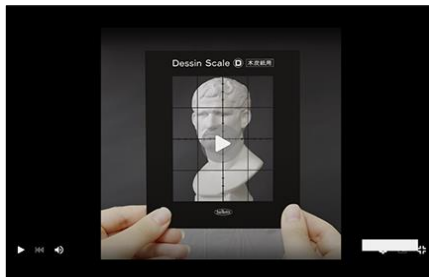
別紙35-17



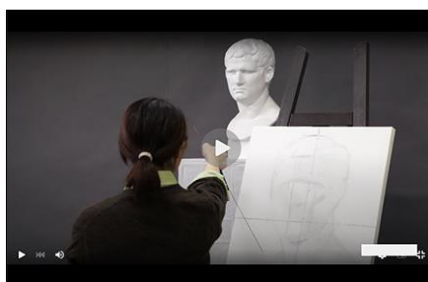
別紙36-1



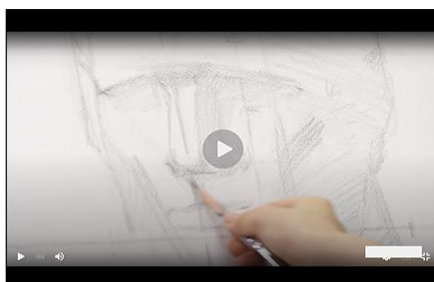
別紙36-2



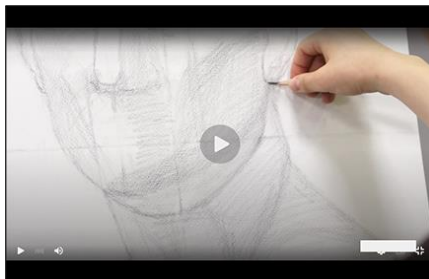
別紙36-3



別紙36-4



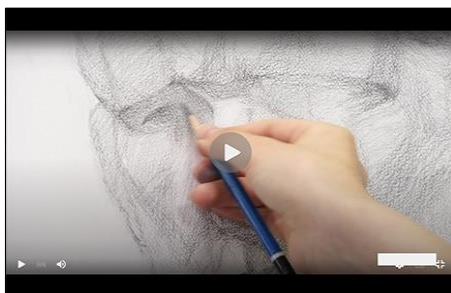
別紙36-5



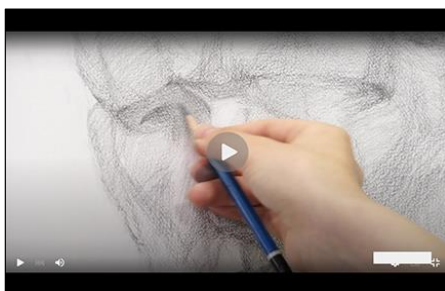
別紙36-6

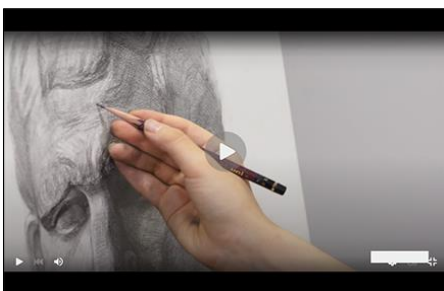


別紙36-7



別紙36-8

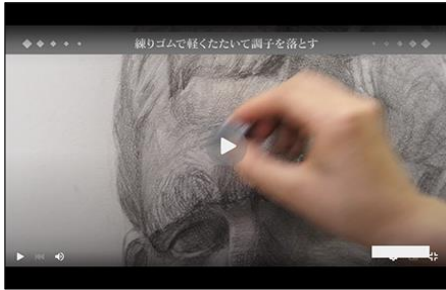




別紙36-13



別紙36-14



別紙36-15



別紙36-16



別紙36-17



新・高校生の美術 2

※印刷にあたって ※印刷注意

※ 高校生の美術 2 > 編修者の美術制作 > シルクスクリーン 技法動画

シルクスクリン 技法動画

本動画では、シルクスクリン印刷機を用いてTシャツを印刷する。印刷の仕方や印刷の準備方法を説明して制作しよう。

技法動画

① 木枠に接着剤を塗る

木枠の縁に白接着剤を塗る。接着剤を塗り終えたら、乾燥させる。



- ① 白接着剤を塗る
- ② 白接着剤を塗り終えたら、乾燥させる

② 木枠に紙を貼る

紙は、1枚を木枠の裏面に貼り、アイロンで乾かす。紙の裏面は、裏面を貼る。



- ① アイロンで乾かす
- ② 紙の裏面に白接着剤を塗る

③ 原画をつくる

原画の裏面にスクラッチ、作成した原画を第二原画機にコピーする。



④ ボシ原画をつくる

コピーした原画をボシ原画機で複製し、ボシ原画をつくる。



- ① 第二原画機で原画を複製する
- ② ボシ原画機でボシ原画をつくる

⑤ 感光乳剤をつくる

感光乳剤を混ぜて糊状にし、よく攪拌して、感光乳剤をつくる。



- ① 感光乳剤を混ぜる
- ② 糊状にし、よく攪拌する

⑥ 感光乳剤を塗る

感光乳剤をスクリーンに塗り、糊状にする。糊状になったら、乾燥させる。



- ① 感光乳剤を塗る
- ② 糊状になったら、乾燥させる

⑦ 感光剤で露光する

感光剤のボシ原画とスクリーンが重なるようにセットして露光する。



- ① 感光剤のボシ原画とスクリーンをセットして露光する
- ② 露光が終わったら、スクリーンを洗う

⑧ スクリーンを洗う

感光剤を洗い流す。糊状になったら、乾燥させる。



- ① 感光剤を洗い流す
- ② 糊状になったら、乾燥させる

⑨ 印刷準備

印刷機にTシャツをセットし、印刷機をスタートさせる。Tシャツを印刷する。



- ① 印刷機にTシャツをセットする
- ② Tシャツを印刷する

⑩ 印刷

印刷機をスタートさせ、Tシャツを印刷する。印刷が終わったら、スクリーンを洗ってスクリーンを再利用する。印刷機をスタートさせる。



- ① 印刷機をスタートさせる
- ② Tシャツを印刷する
- ③ 印刷が終わったら、スクリーンを洗ってスクリーンを再利用する
- ④ 印刷機をスタートさせる

⑪ 完成

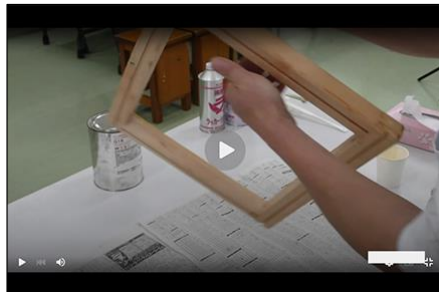


メニュー

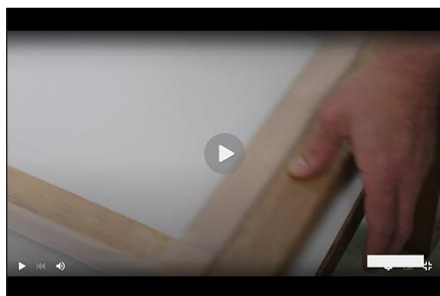
別紙37-1



別紙37-2



別紙37-3



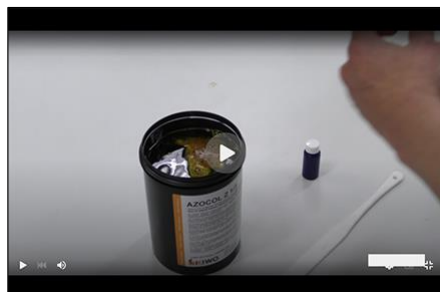
別紙37-4



別紙37-5



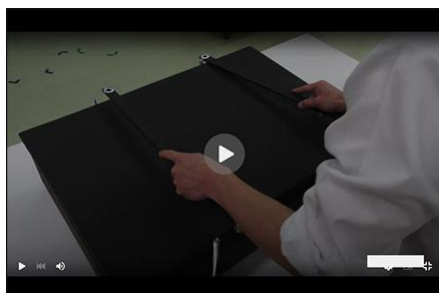
別紙37-6



別紙37-7



別紙37-8



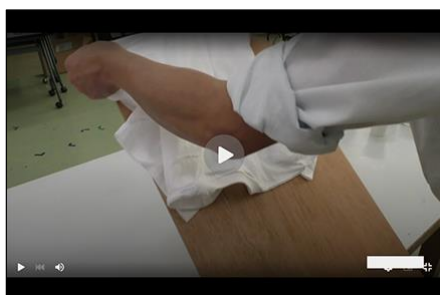
別紙37-9



別紙37-10



別紙37-11



別紙37-12



別紙37-13



別紙37-14



別紙37-15



別紙37-16



▼ 印刷用紙に印刷してください

新・高校生の美術 2

※ 編者の承諾を得た上で、複製や改題等の権利をフリーでご利用いただけます。

エッチング 技法動画

エッチングは銅板を酸で蝕刻して文字や図案を作ります。蝕刻した部分にはインクが染みこみ、刷り出すと美しい印刷が出来ます。

※ 動画は1分以内です。必ずお名前を記入してください。

1 銅板をヤスで磨く

銅板の表面をヤスで磨き、表面を滑らかにします。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

2 銅板をペーパーで磨く

銅板の表面をペーパーで磨き、表面を滑らかにします。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

3 グラントを塗る

銅板の表面にグラントを塗ります。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

4 下絵を転写する

下絵を銅板の表面に転写します。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

5 ニードルで書く

ニードルで銅板の表面に文字や図案を書きます。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

6 蝕刻液を塗る

蝕刻液を銅板の表面に塗ります。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

7 蝕刻液を止める

蝕刻液を銅板の表面から取り除きます。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

8 グラントを塗る

銅板の表面にグラントを塗ります。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

9 印刷準備

銅板の表面を印刷準備します。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

10 印刷

銅板の表面を印刷します。



- 銅板の表面を滑らかにする。
- 銅板の表面を滑らかにする。

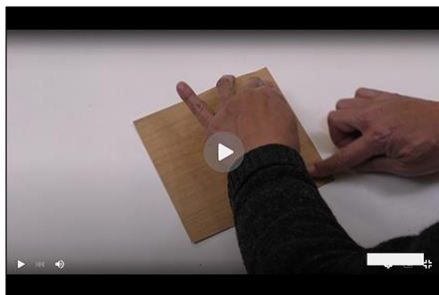
11 完成

銅板の表面を印刷完了します。

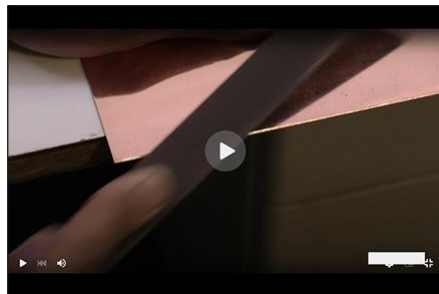


▼ 印刷用紙に印刷してください

別紙38-1



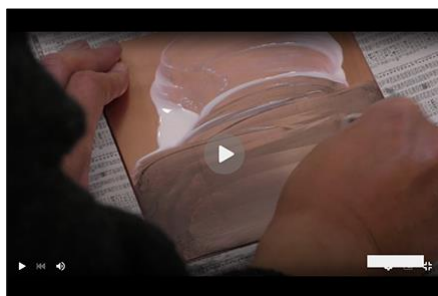
別紙38-2



別紙38-3



別紙38-4



別紙38-5



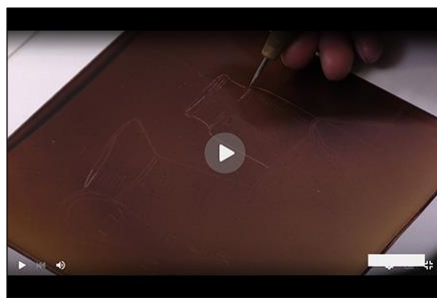
別紙38-6



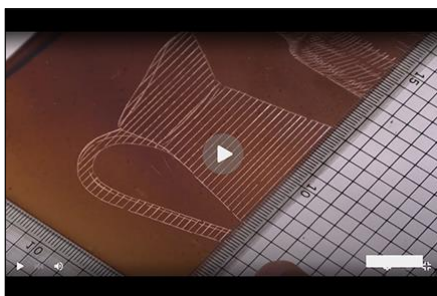
別紙38-7



別紙38-8

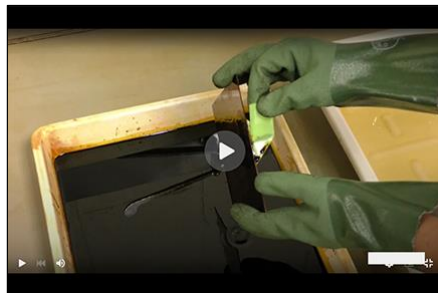
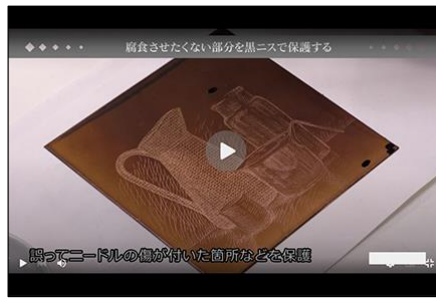


別紙38-9



別紙38-10





別紙38-15



別紙38-16

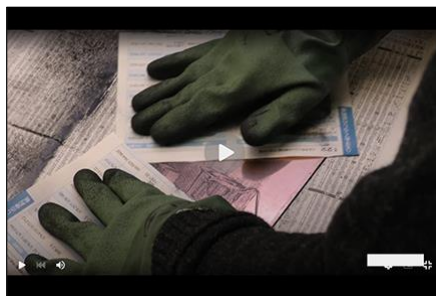
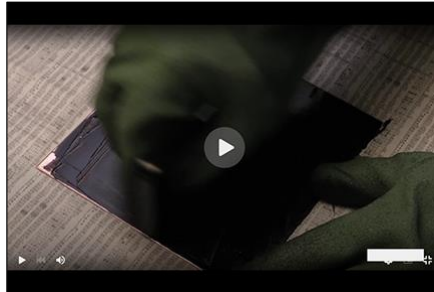


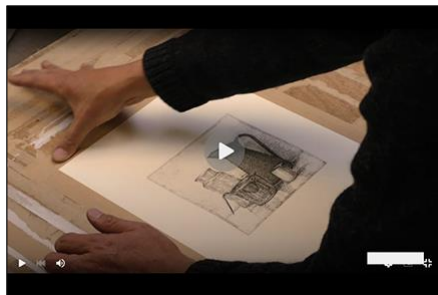
別紙38-17



別紙38-18







新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な絵画資料 > 彫造(そぞう) 技法動画

塑造(そぞう) 技法動画

可塑性のある粘土などを用いていく方法を解説という。素材の特性をまかせ、モチーフの質感を考えながら制作を進めよう。

技法動画

① 芯を形づくる

まず土台をつくる。芯に角材を立て、し型アングルを用いて角材の四方をすべてネジ留めする。次に針金と縄で芯をつくる。顔のような広い部分の芯には麻縄、それ以外の部分にはしゅう縄を巻いて、粘土の付きをよくする。芯は5分ほどとめて、しゅう縄で角材に固定する。関節の位置や曲線を考えながら、芯の形を整える。



- 01 土台をつくる
- 02 顔の部分の芯をつくる
- 03 手のひらのベースと指の芯をつくる

② 粗付け

骨格や筋肉の構造を覚え、大まかに粘土を付ける。



- 01 大まかに粘土を付ける
- 02 肘やしわのあたりを付ける
- 03 筋肉の質感を表現しながら粘土を付ける
- 04 手のひらのバランスを整える

③ 形を整える

全体の形や動きも考えながら、大きな曲線を覚えて粘土を付ける。



- 01 骨や関節を整えながら粘土を付ける
- 02 角度を調整して十分な粘土を落とす
- 03 自分の手を観察しながら粘土を付ける

④ 表面を整える

様々な角度から観察し、面の変わり目を整える。指先まで気を配り、関節を整え、完成に向かう。



- 01 不自然な部分で粘土の多い部分を削いで修正する
- 02 しわやその周辺の盛り上がった筋筋を付ける
- 03 指のバランスを整える
- 04 しわの部分から手の変わり目を整える

⑤ 完成

細部の質感を覚えて表現し、全体を整えて完成。



- 01 指先で爪を成形する
- 02 手のひらの関節を成形する
- 03 手の指の線をぬきまさせる
- 04 手の関節のしわを付ける
- 05 細部の質感整!

メニュー

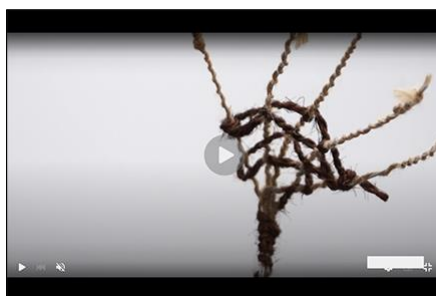
別紙39-1



別紙39-2



別紙39-3



別紙39-4



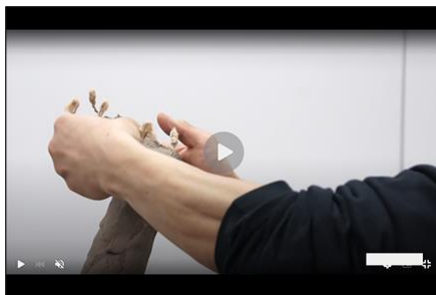
別紙39-5



別紙39-6



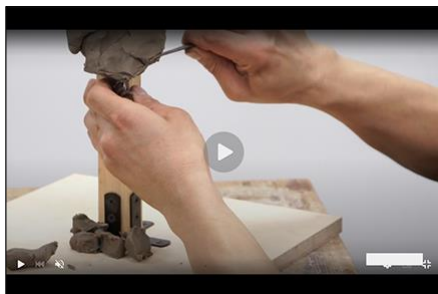
別紙39-7



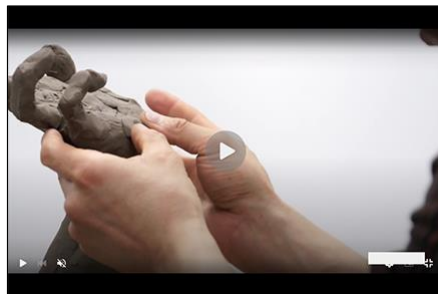
別紙39-8



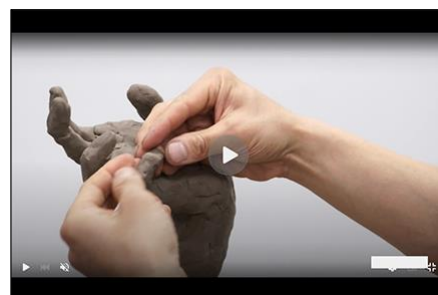
別紙39-9



別紙39-10



別紙39-11



別紙39-12



別紙39-13



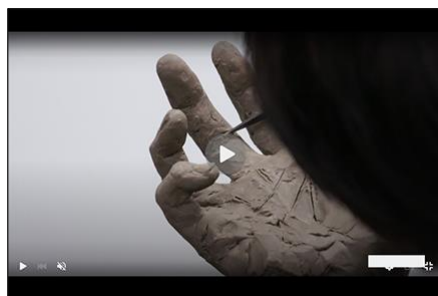
別紙39-14



別紙39-15



別紙39-16



別紙39-17



別紙39-18



別紙39-19



別紙39-20



別紙39-21



新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 彫造 技法動画

彫造 技法動画

鑿（のみ）や彫刻刀などを使って木や石などを彫る方法を彫造という。
全体と部分とのバランス、ねじれや動勢などを捉えて、自分のイメージを彫り出そう。

技法動画

① デッサンをする

つくりたい像の高さや幅、奥行きを確かめるように、木材の各面にデッサンを入れる。



01 側面のデッサンを入れて不要な部分を切り落とす

02 上部のデッサンを入れて不要な部分を切り落とす

② 粗く削り落とす

のござりでござりで各面に切り込みを入れ、不要な部分を削り落とし、再びデッサンを補う。



01 デッサンの輪郭に合わせて切り込みを入れる

02 持ち手を残して不要な部分を削り落とす

03 削り落とした木材にデッサンを補う

③ 形状を彫る

対象をいろいろな角度から観察し、ねじれなど形体の特徴を加えて彫り進める。



01 角を削りにほしの形に近づける

02 デッサンを入れながらさらに彫る

④ 細部を彫る

全体の調和を考えながら細部の高度を高め、持ち手を切り落とす。



01 えらを彫る

02 口を彫る

03 目を彫る

04 体のねじれ具合を確認する

⑤ 完成

色を塗って筋などを彫り、完成。



01 表面の凹凸を彫る

02 溝やシワを彫る

03 尾びれの骨の筋を彫る

04 表面の凹凸を調整する

別紙40-1



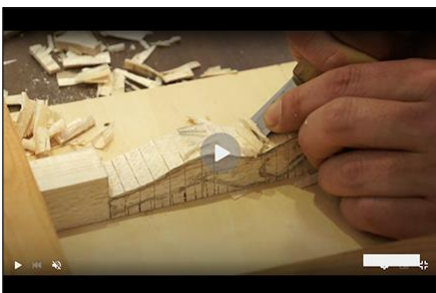
別紙40-2



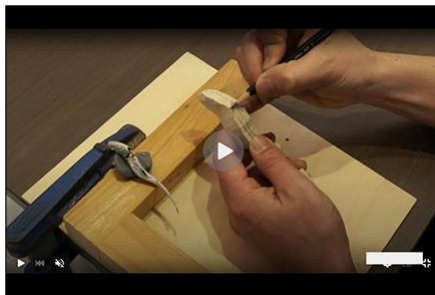
別紙40-3



別紙40-4



別紙40-5



別紙40-6



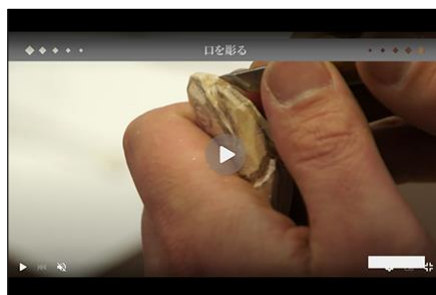
別紙40-7



別紙40-8



別紙40-9



別紙40-10



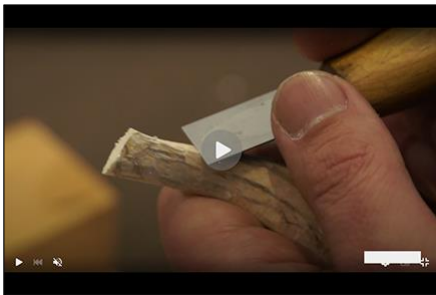
別紙40-11



別紙40-12



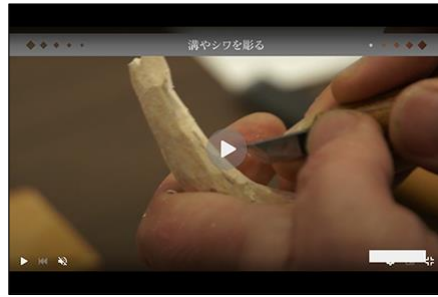
別紙40-13



別紙40-14



別紙40-15



別紙40-16



別紙40-17



別紙40-18



別紙40-19



別紙40-20



別紙40-21



別紙40-22



別紙40-23



新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 水彩画を描く / 技法動画/タイムラプス動画

水彩画を描く 技法動画/タイムラプス動画

本資料の目的は説明用であり、ここでは説明用紙を用いて描画を描くことにはあてず、透写など、透写用紙ならではの特性を生かして画いてみよう。

■ タイムラプス動画



(注)本資料は、タイムラプス動画

■ 技法動画

① 鉛筆で下絵を描く

建物のはしかり形を塗り、樹木の葉の輪などは大きめに当たりを付ける程度にする。



01. 鉛筆で下絵を描く

② マスキングをする

後で塗り替える花を鮮やかに見立たせるため、そこに他の色が乗らないよう、マスキングをする。



02. マスキングをする

③ 狭く地色を乗せる

空や建物など、自然物を広い面積で狭く部分に木を塗り、色をのける。



03. (ポイント)に鉛の線を多めにのける
04. 空を塗ってのける
05. 葉を塗ってゴクスタンプする
06. 土気色で塗りつぶす

④ 陰を描いて形を殺す

建物や道路など、人工物に影を落とす。光の方向を考えて陰を描き、形を殺していく。



07. 陰を描いて形を殺す
08. 陰を濃く入れていく

⑤ 遠近を強調して描き込む

レンガ壁や屋根の瓦、葉の細部などを描き込み、立体感を演出する。



09. 遠近を工夫して自然に景色で描く
10. 自然画の遠近感を表現する

⑥ 完成

手前の遠くに樹木の影を落とす。画面外の広々とした空間を感じさせるようにして完成。



11. マスキングを除去して花を塗り
12. 葉の色を塗り
13. 最終調整
14. 完成作品

■ 水彩画の技法



15. コマージュ
16. 水のクラン
17. パンク
18. スクワッシュ
19. グラフティーション
20. 水彩画の技法

< メニュー

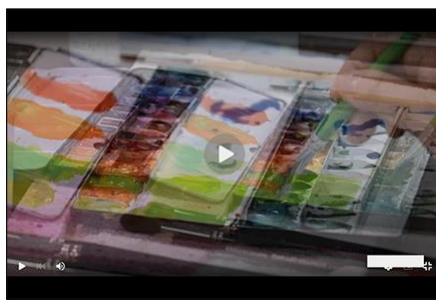
別紙41-1



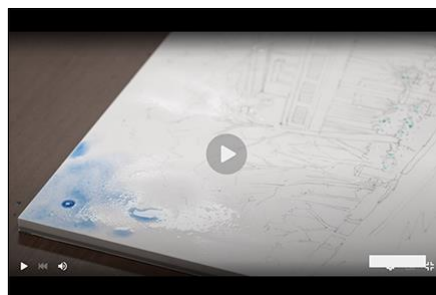
別紙41-2



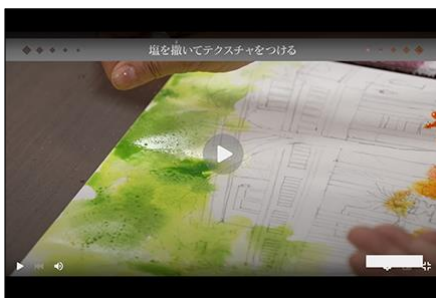
別紙41-3



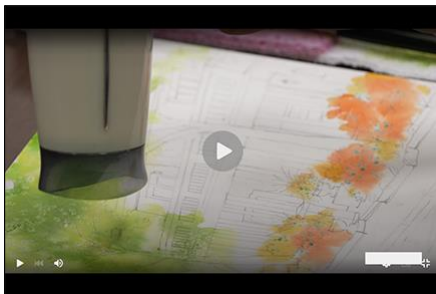
別紙41-4



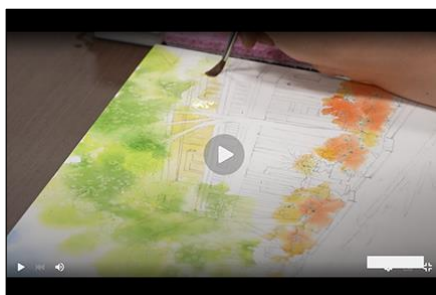
別紙41-5



別紙41-6



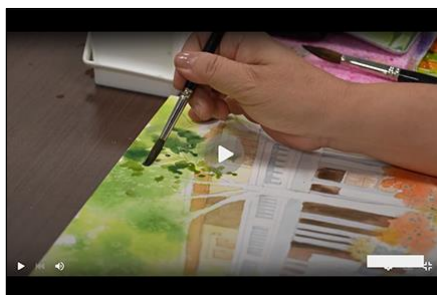
別紙41-7



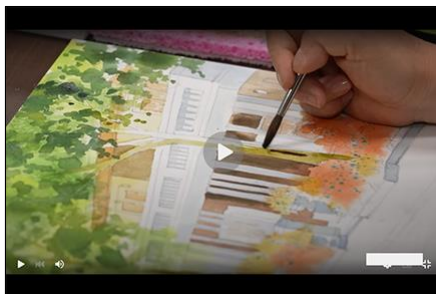
別紙41-8



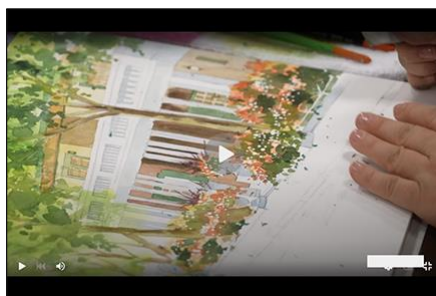
別紙41-9



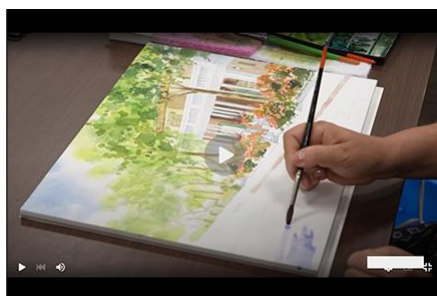
別紙41-10



別紙41-11



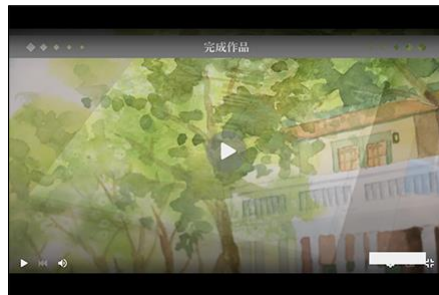
別紙41-12



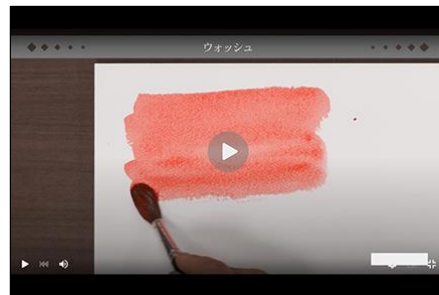
別紙41-13



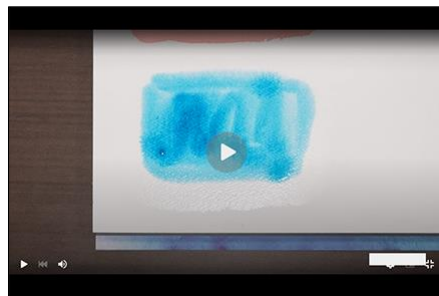
別紙41-14



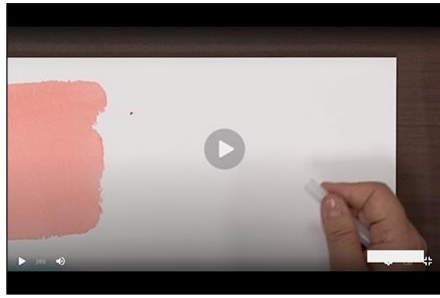
別紙41-15



別紙41-16



別紙41-17



別紙41-18



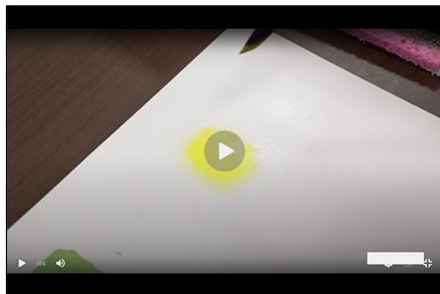
別紙41-19



別紙41-20



別紙41-21



別紙41-22



別紙41-23



別紙41-24



新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 日本画を描く > 技法動画

日本画を描く 技法動画

日本画の技法や用紙・材料は長い伝統によって育まれてきた。作業を描くことを通して、日本画の表現のよさ、伝統を学び、古き作品などの鑑賞に役立てよう。

技法動画

① 下絵を描く

写生を基に水彩絵の具で下絵を描く。複数の下絵を組み合わせたり重ねたりすることもある。



② 骨描（こつが）きをする

下絵からトレーシングペーパーに写し取ったものを、和紙に転写し、墨で書き起こす。



01. 下絵をトレーシングペーパーに写し取る
02. トレーシングペーパーの線を和紙に転写する
03. 和紙に転写した線を骨描きする

③ 下地と背景を塗る

全体の下地に顔料（こらん）を塗り、乾燥後に水干（すいひ）紙の具で背景を塗る。



01. 顔料で地塗りをする
02. 水干紙の具をすり渡し厚塗りで塗く
03. 背景を2色の水干紙の具でグラデーションに塗る

④ 水干絵の具で彩色

水干絵の具でモチーフを下塗りする。



01. 水干絵の具で下塗りする
02. 葉に複数の色を塗り重ね深みを出す
03. 白い花弁を顔料で下塗りする

⑤ 岩絵の具と胡粉で彩色

発色のよい岩絵の具でさらに彩色する。白い花には胡粉を用いる。



01. 葉り塗りする
02. たらし込みをする
03. 水と胡粉で花弁を塗り重ねる

⑥ 完成

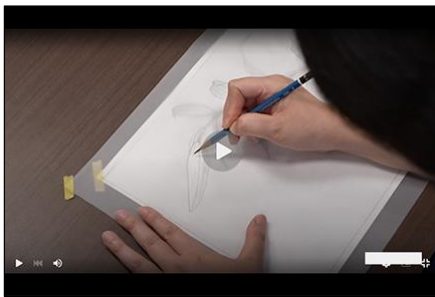
色のバランスや調子を確認しながら、細かい部分まで描いて完成。



01. 花の顔彩を描く
02. 葉の顔彩を描く

< メニュー

別紙42-1



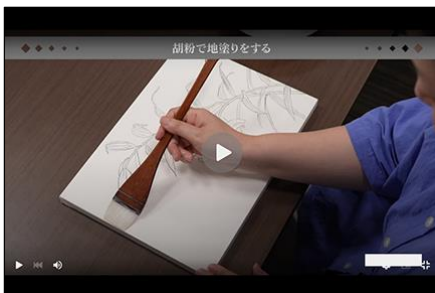
別紙42-2



別紙42-3



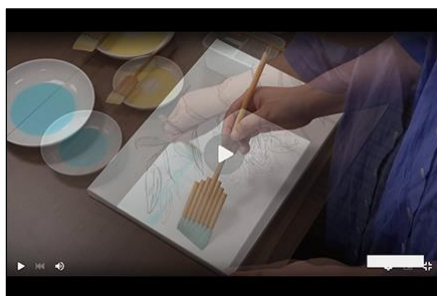
別紙42-4



別紙42-5



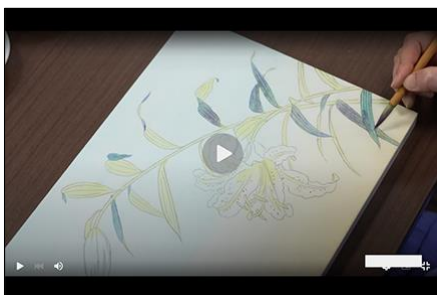
別紙42-6



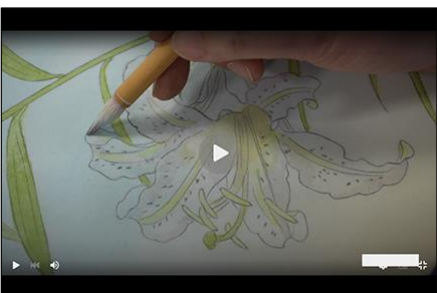
別紙42-7

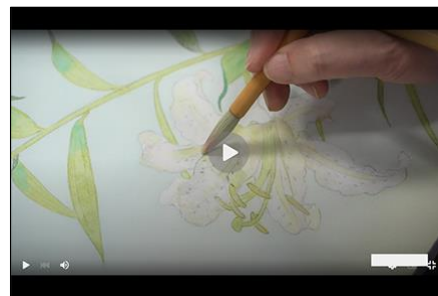


別紙42-8



別紙42-9





新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 図画を深く > 技法動画

油彩画を描く 技法動画

光沢のある物や質感をもつ顔料の画は、筆の運びや筆遣りなどが重要な表現手段で、絵筆で描く際にも違いがある。油絵の画の特性や技法を学び、表現に役立てよう。

技法動画

① 木炭で下書き

木炭の下書き。描き終えたら鉛の線と混ざらないように定着液を吹きかける。



1. 輪郭を木炭で下書きする
2. 影を木炭で下書きする

② おつゆ描き

絵の具を筆で塗りつぶす（おつゆ）で、モチーフの大きな形と陰影を捉える。



1. おつゆを描く
2. おつゆを塗りつぶす

③ 大まかに色をつける

モチーフの形より全体の印象を捉えることを大切に、手前と奥の距離感を捉えながら描く。



1. 全体の印象を捉えながら色をつける
2. 手前と奥の距離感を捉えながら描く

④ 色を重ねて存在感を出す

全体を塗りつぶしながら、画面が単調にならないように、緑色を背景に塗りつけて存在感を出す。



1. ペインティングナイフで背景を塗りつぶす
2. 色を重ねて質感を出す
3. 質感を塗りつぶしながら描く
4. リンゴの色を塗りつぶす
5. 瓶の色を塗りつぶす
6. テーブルの色を塗りつぶす

⑤ 細かく質感を描き込む

質感を大切にしながら細部を描き込み、モチーフの存在感を際立たせる。



1. 瓶上の色を塗って質感を出す
2. 瓶上をさらに塗る

⑥ 完成

光が感じられるように、質感に強い緑色や黄色を塗りつけて完成。



1. 瓶上の色と質感をさらに塗りつぶす
2. 瓶上の色を塗りつぶす
3. 瓶上の色を塗りつぶす
4. 瓶上の色を塗りつぶす
5. 瓶上の色を塗りつぶす
6. 瓶上の色を塗りつぶす

木こぼし

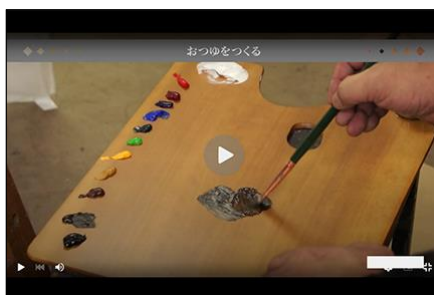
別紙43-1



別紙43-2



別紙43-3



別紙43-4



別紙43-5



別紙43-6



別紙43-7



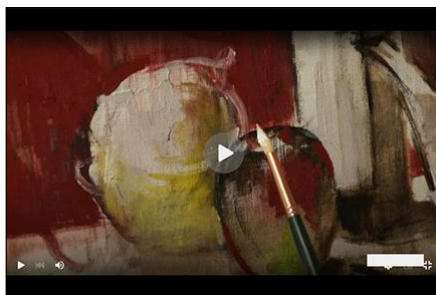
別紙43-8



別紙43-9



別紙43-10



別紙43-11



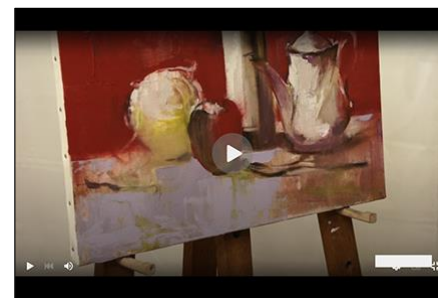
別紙43-12



別紙43-13



別紙43-14



別紙43-15



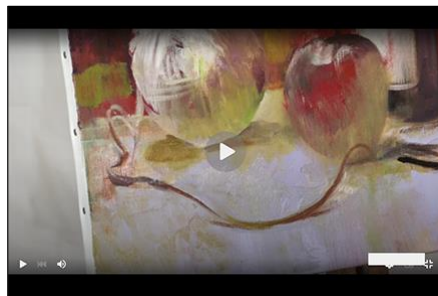
別紙43-16



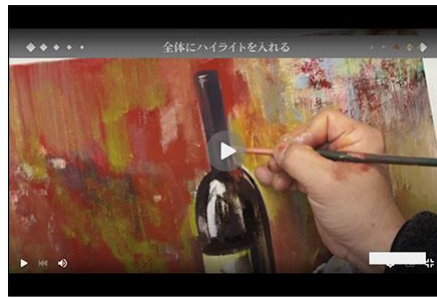
別紙43-17



別紙43-18



別紙43-19



別紙43-20



別紙43-21



別紙43-22



別紙43-23



別紙43-24



別紙43-25



ご利用にあたって ▶ 推奨環境 ▶

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > アクリル絵の具の可能性 タイムラプス動画ほか

アクリル絵の具の可能性 タイムラプス動画ほか

アクリル絵の具は固着力が強く、水に溶ける一方で乾くと耐水性を得る。乾燥が早く、薄塗りから厚塗りまで幅広い表現が可能だ。

■ タイムラプス動画

【透明水彩のように タイムラプス動画】

【不透明水彩のように タイムラプス動画】

【油絵の具のように タイムラプス動画】

【色面分割で タイムラプス動画】

■ 資料PDF

PDF (375KB) >

【透明水彩のように (プロセスPDF)】

PDF (340KB) >

【不透明水彩のように (プロセスPDF)】

PDF (435KB) >

【油絵の具のように (プロセスPDF)】

PDF (301KB) >

【色面分割で (プロセスPDF)】

アクリル絵の具の可能性 | 透明水彩絵の具のように

アクリル絵の具は、溶く水分量を調節したり、様々な補助剤と混ぜ合わせたりすることで、透明水彩や不透明水彩、また油彩のように描くことも可能です。教科書紙面では紹介しきれなかった「透明水彩絵の具のように」の作例における制作過程を、順を追って見ていきましょう。



1 下描き

モチーフを観察し、形体を捉えてデザインする。

下描きの手順



モチーフの黄色いペリカ。表面の質感やツヤ、陰影の色味などを意識して描いていく。また描きながら段階離れたところから見て、形体の狂いを確認する。



①大まかに輪郭と凹凸、陰影を描いている(4B、2H)。



描き始めは鉛筆を寝かせて柔らかく描いている。

②ペリカの構造や、形の変わり目である縦線を強くすることで立体感を表している(2H)。



縦線やツヤの線を加重することで、立体感を表している。斜め方向に線を描くことで、斜め方向の質感を表現する。

③若干にまわって、距離のタッチの方向を調整している(4H、2H、2H、4H)。



鉛筆を斜め方向として傾けて描くことで、立体感を表している。

④字線を線などを練りゴムで磨いて下描き終了。



アクリル絵の具の可能性 | 不透明水彩絵の具のように

アクリル絵の具は、溶く水分量を調節したり、様々な補助剤と混ぜ合わせたりすることで、透明水彩や不透明水彩、また油彩のように描くことも可能です。教科書紙面では紹介しきれなかった「不透明水彩絵の具のように」の作例における制作過程を、順を追って見ていきましょう。



1 下描き

モチーフを観察し、形体を捉えてデザインする。



モチーフの黄色いペリカ。表面の質感やツヤ、陰影の色味などを意識して描いていく。また描きながら段階離れたところから見て、形体の狂いを確認する。



大まかに輪郭と凹凸、陰影を描く。ペリカの構造や、形の変わり目である縦線を強くすることで立体感を表している(4B、2B、2H)。



描き始めは鉛筆を寝かせて柔らかく描いている。

アクリル絵の具の可能性 | 油絵の具のように

アクリル絵の具は、溶く水分量を調節したり、様々な補助剤と混ぜ合わせたりすることで、透明水彩や不透明水彩、また油彩のように描くことも可能です。教科書紙面では紹介しきれなかった「油絵の具のように」の作例における制作過程を、順を追って見ていきましょう。



1 下描き

モチーフを観察し、形体を捉えてデッサンする。



モチーフの黄色いブツリカ。
 表皮の質感やツヤ、陰影の色味などを意識して描いていく。
 また描きながら随時離れたところから見て、形体の狂いを確認する。



大まかに輪郭と凹凸、陰影を描いている (4B, 2B)。



描き始めは鉛筆を寝かせて柔らかく描いている。

アクリル絵の具の可能性 | 色面分割で

アクリル絵の具は、溶く水分量を調節したり、様々な補助剤と混ぜ合わせたりすることで、透明水彩や不透明水彩、また油彩のように描くことも可能です。教科書紙面では紹介しきれなかった「色面分割で」の作例における制作過程を、順を追って見ていきましょう。



1 下描き

モチーフを観察し、形体を捉えてデッサンする。



モチーフの黄色いブツリカ。
 表皮の質感やツヤ、陰影の色味などを意識して描いていく。
 また描きながら随時離れたところから見て、形体の狂いを確認する。



大まかに輪郭と線描を描いている (2B)。
 陰影はつけていない。



描き始めは鉛筆を寝かせて柔らかく描いている。

▶ご利用にあたって ▶環境環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > アクリルガッシュで平面構成をする タイムラプス動画ほか

アクリルガッシュで平面構成をする タイムラプス動画ほか

■ タイムラプス動画

STEP4 塗り②

【アクリルガッシュで平面構成をする タイムラプス動画】

■ 資料PDF

PDF (773KB) >

【アクリルガッシュで平面構成をする (プロセスPDF)】

アクリル絵の具の可能性 | アクリルガッシュで平面構成をする

柔軟性に優れ、幅広い表現が可能なアクリル絵の具。中でも層を重ねる機会が少ないアクリルガッシュ絵の具は、塗りムラが少なく、平面的な表現に向いています。教科書範囲では紹介しきれなかった「アクリルガッシュ絵の具で平面構成をする」の作例における制作過程を、順を追って見ていきましょう。

1 エスキース アイデアスケッチを基に構図を決め、明度・配色計画を練る。

エスキースの流れ

エスキース①：①構図の検討

① ネットワークとレモンがランダムに並びあふイメージ。

② レモンを数個はくばりながら残った人でもうひとつイメージ。

③ ボールの輪廓線がレモンのみでみえ、これもまたイメージ。

④ レモンを輪廓にして輪廓はも削ぎを失ったイメージ。

構図するモチーフ (球、レモン) だけを組み合わせ、構図のアイデアをスケッチする。

▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 豊かな混色表現 タイムラプス動画

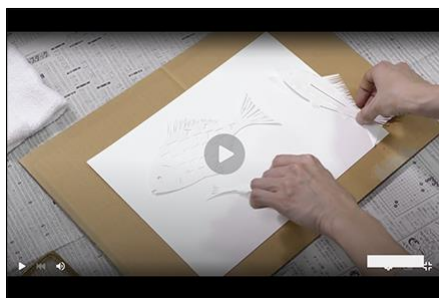
豊かな混色表現 タイムラプス動画

絵の具の基本12色セットから黒色を除いた11色で描かれた作例を参考に、有彩色の混色による豊かな色彩表現を知り、制作に生かそう。

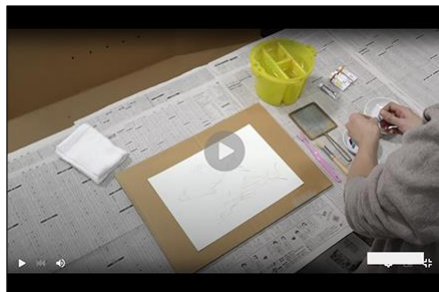
■ タイムラプス動画



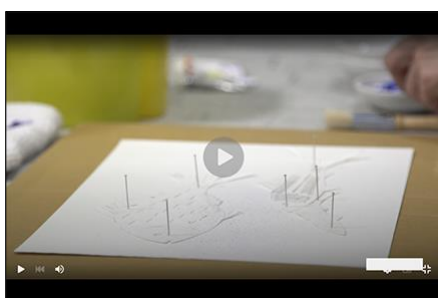
別紙47-1



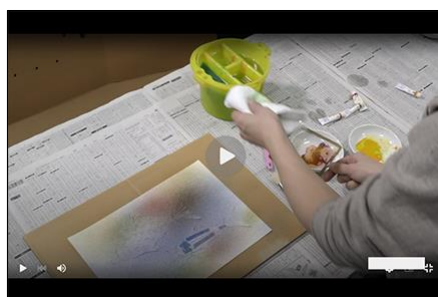
別紙47-2



別紙47-3



別紙47-4



別紙47-5



別紙47-6



別紙47-7

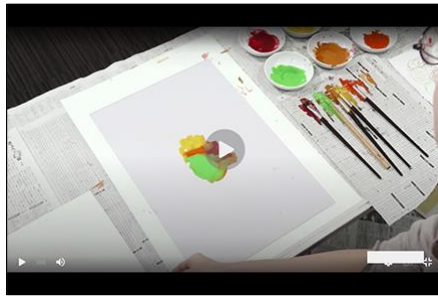


別紙47-8

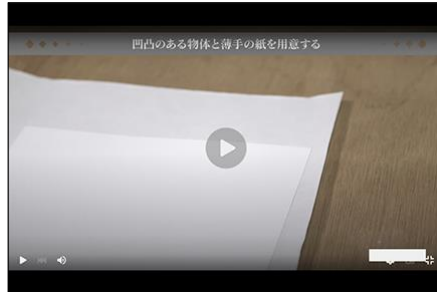




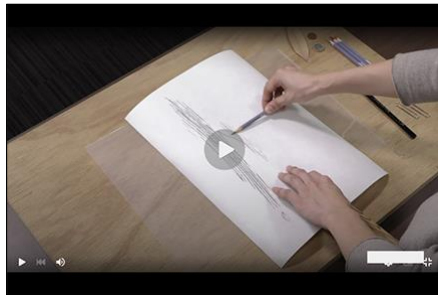
別紙47-13



別紙47-14



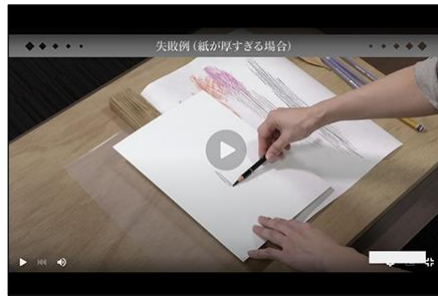
別紙47-15



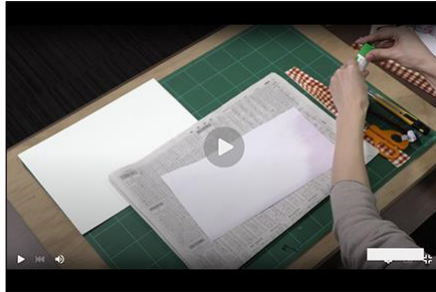
別紙47-16



別紙47-17



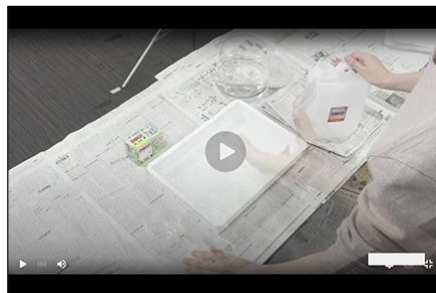
別紙47-18



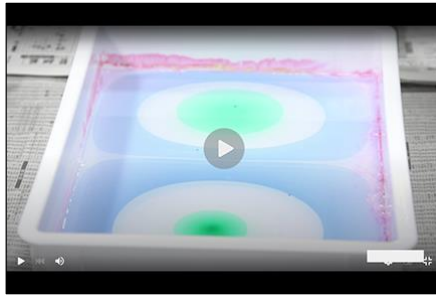
別紙47-19



別紙47-20



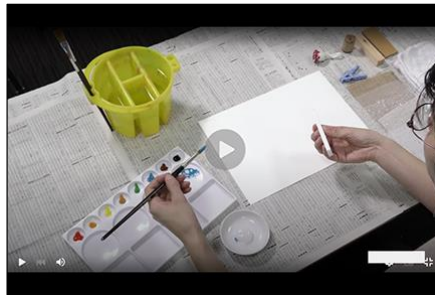
別紙47-21



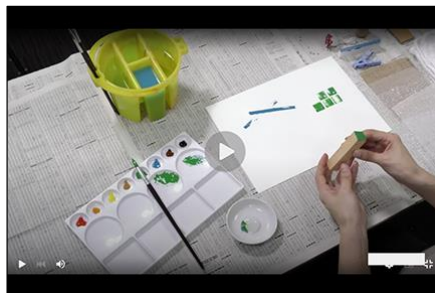
別紙47-22

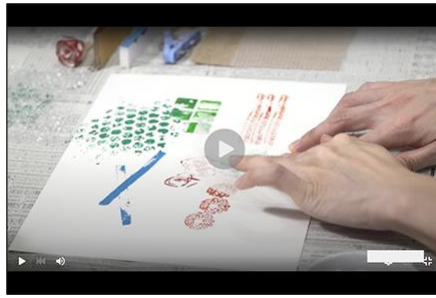


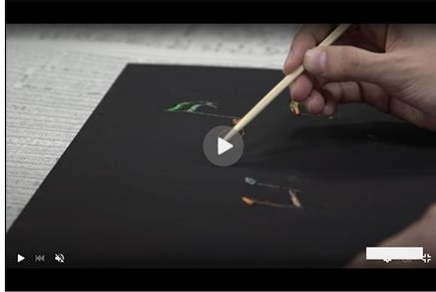
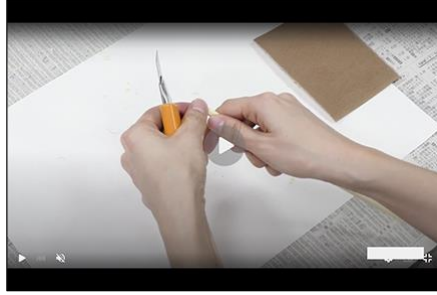
別紙47-23



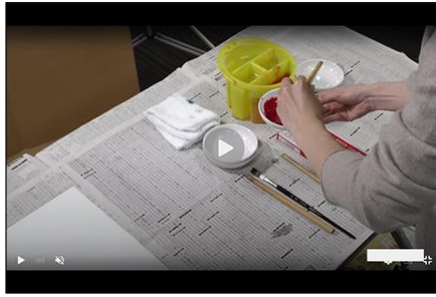
別紙47-24







別紙47-33



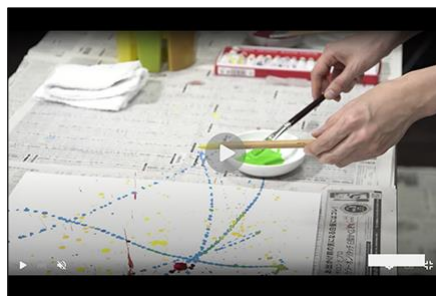
別紙47-34



別紙47-35



別紙47-36





さまざまな表現技法 — モダンテクニックの技法と注意点

スパッタリング

絵の具を混ぜたアクリル（びんし）に筆で描き、霧状に細かい色を飛ばす技法。筆のストロークは全く薄く、繊細かつ幻想的な色の濃淡をつくることが出来る。筆跡や色の濃淡も影響すること、レイヤー状に塗り重ねることも出来る。



必要な道具・素材



スパッタリングの道具・素材
 文房具 筆（00番前後）、アクリル¹⁾
 画材 絵の具（00番前後の純水溶性水彩絵の具（ポスターカラー、ガッシュ））
 道具類 びんし、ブラシ（0番アクリル、筆、筆洗、紙皿（リフレット）等）、下書き用紙（A4）
 マスキング用紙（マスキングペーパー、ラント紙 など）
 道具類 カッターナイフ、カッターマット、テープ類
 （マスキングテープ、セロテープ など）

¹⁾ 美術用に濃度を調整すること。
²⁾ 市販品もあるが、自作は可能。厚紙で糊張りした紙を裏に貼って、裏面にビニールテープを貼る（100均一などで購入可能）を推奨。裏面にビニールテープを貼ることで、裏面に糊が乾くのを防ぐことができる。

びんしを自作する際の素材・道具類と完成品

道具・素材の準備方法

- ◎ 自作の道具類は、事前に準備しておく。
- △ 市販の道具類は、事前に準備しておく。
- 用意しない。

自作の道具類は、事前に準備しておく。事前に準備しておくことで、作業がスムーズに進む。また、市販の道具類は、事前に準備しておくことで、作業がスムーズに進む。

制作工程

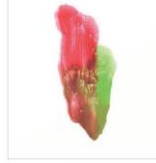
■ 下書きを描く。色をつける部分だけ、つけたい感じ、色の濃淡などを調整しながら描く。制作工程の図解も参照する。
 マスキング用紙の準備
 ■ 下書きの下書きをする。絵の具の濃度は、ラント紙に塗った場合と大抵同じくらい。

■ 霧状に下書きに沿ってカットする。必要に応じてカットテープを使い、下書きに沿ってカットする。ラント紙の大きさが足りない場合はテープでつなぎ合わせる必要がある。その際、筆跡が汚れたり糊が乾いたりしないように注意する。

さまざまな表現技法 —モダンテクニックの技法と注意点

デカルコマニー

平面で水性の絵具に絵の具を塗り、同様の紙やアクリル板などを重ねて圧力をかけ、はがす。すると、絵の具の転写などから、有機的かつ立体的な模様が生まれる。



必要な道具・素材



支持体 | 平面で水性の絵具が
 ①アート紙、アクリル紙の裏で下塗りした
 アート紙(アクリル紙×両面塗)^{*)}
 ②画板(絵の具、③水彩絵具(アクリル絵具の類)
 ④パレット
 ⑤絵の具の容器、筆
 ⑥絵の具、クリアファイル
 ⑦ガラス板、アクリル板(厚板)など、
 ⑧圧力板(厚いものと薄いもの)^{*)}、
 ⑨筆洗(絵具は取り除き)、綿布
 ⑩紙(白紙)、紙巾、下着(使用済紙類)

^{*)} 下塗りしていないアクリル紙を使用しても、効果が出ないだけで
 はないが、アート紙(アート紙×両面塗)に効果が出やすいとい
 った点で、効果の出る材料のため、効果の出る材料の類
 で準備する。
^{*)} 厚いものがなければ薄いものでも、多少汚れてもいいよう
 準備し、絵の具と塗料が混ざらないように注意すること。

注意、事故の防止について

- ① 絵具の容器がこぼれ、服に染み付く
- ② 絵具の容器が破れ、怪我をする
- ③ 絵具の容器が破れ、怪我をする
- ④ 絵具の容器が破れ、怪我をする

絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。

さまざまな表現技法 —モダンテクニックの技法と注意点

フロッターージュ

表面に凹凸があるものの上に線を描き、紙やコンパなどでこす。下の物質の色を露出させていく。スタンプングの逆バージョン。



必要な道具・素材



支持体 | 紙(①厚手の紙、上質紙、フロッピー用紙など
 ×厚手の紙)
 ②厚手の紙、上質紙、フロッピー用紙など
 ③厚手の紙、上質紙、フロッピー用紙など
 ④厚手の紙、上質紙、フロッピー用紙など

^{*)} 厚手の紙は、破れ、怪我の原因となる。厚手の紙は、破れ、怪我の原因となる。厚手の紙は、破れ、怪我の原因となる。

注意、事故の防止について

- ① 絵具の容器がこぼれ、服に染み付く
- ② 絵具の容器が破れ、怪我をする
- ③ 絵具の容器が破れ、怪我をする
- ④ 絵具の容器が破れ、怪我をする

絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。絵具の容器は、破れ、怪我の原因となる。

制作工程

- 紙の表面が凹凸になったり、テクスチャーがある場合は、その上で紙を貼る。紙のテクスチャーも写し取ってしまうので、表面が凹凸なクリアファイルなどを下敷にする。
- 凹凸のある立体的なクリアファイルの上に書き、その上から紙を貼る。糊材でその形状、テクスチャーを紙に写し取る。
- 複数の立体的なテクスチャーを同一紙上に配置する場合は、立体的な紙を貼る。糊を塗り直す。

^{*)} 糊材は乾燥させず、糊材の乾燥を待つ紙の上を塗る。糊材の乾燥を待つ紙の上を塗る。糊材の乾燥を待つ紙の上を塗る。糊材の乾燥を待つ紙の上を塗る。

さまざまな表現技法 — モダンテクニックの技法と注意点

スタンピング

身近にあるものや絵の具を使って転写し付けてみる。繰り返してスタンプすることでイメージが膨らむ。



必要な道具・素材



スタンピングの道具・素材
支持体 | 紙、画用紙、特殊紙(厚紙や和紙など)
糊材料 | 糊の具(白糊、アクリル糊の具など)
刷毛 | 筆、スポンジ、歯ブラシ、めん棒、筆など
道具類 | 筆、ローラーなどもあるよ!
画材 | 絵具、顔料、下書き用紙

紙になるものや自作する場合は道具・素材
■ 材 | 加工しやすい厚紙やスチヤ、(A5)のある素材(ダンボール、厚紙、スチレンボード、紙粘土、コルク、和紙等類(「アクリル」)の消しゴム、さつまいも、押しゴム、など)
道具類 | カッターナイフ、裁断刀、ハケ、カッターマット
接着用品 | [ボンド、糊、テープなど]
下書き用紙類

注意・事故防止について
① 絵の具や糊が目に飛びかかると危険です。
② 絵の具や糊が鼻や口に入ると危険です。
③ 絵の具や糊が服や肌に入ると危険です。
④ 絵の具や糊が机や床に落ちると危険です。

目的や用途にも、糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたが異なります。
また、絵の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
糊の乾燥時間は糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって異なります。

制作工程

紙になるものを自作する
糊の具に糊を塗る。必要部分だけカットしたり、糊の手を付けたらすぐとれやすい。糊材そのものでは糊が乾かないような厚紙やスチレンボードなどでも、何となく糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する。また、さつまいも(糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する)やめん棒(糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する)など、加工しやすい材料を用いて独自の糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する。

スタンピングの工程
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。

さまざまな表現技法 — モダンテクニックの技法と注意点

スクラッチ

厚紙の表面に糊の具やクレヨンで下塗りして、上からアクリルガッシュの具で塗りつぶす。乾かした道具(スクラッチペン)で削ると、下のクレヨンの色があらわれ鮮やかな絵の具が現れる。



必要な道具・素材



スタンピングの道具・素材
支持体 | 厚紙(10イラストボード、画用紙、アート紙)
糊材料 | クレヨン、上塗り用糊の具(糊)
糊材料 | アクリルガッシュの具(糊)
道具類 | スクラッチペン(削りかき用の道具) *2
ティッシュペーパー、筆、筆洗、筆洗
画材 | 顔料、下書き用紙

注意・事故防止について
① 絵の具や糊が目に飛びかかると危険です。
② 絵の具や糊が鼻や口に入ると危険です。
③ 絵の具や糊が服や肌に入ると危険です。
④ 絵の具や糊が机や床に落ちると危険です。

目的や用途にも、糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたが異なります。
また、糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
糊の乾燥時間は糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって異なります。

制作工程

糊の具に糊を塗る。必要部分だけカットしたり、糊の手を付けたらすぐとれやすい。糊材そのものでは糊が乾かないような厚紙やスチレンボードなどでも、何となく糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する。また、さつまいも(糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する)やめん棒(糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する)など、加工しやすい材料を用いて独自の糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する。

■ イラストボードに、用意した糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。

さまざまな表現技法 — モダンテクニックの技法と注意点

ドリッピング

たっぷり濡らした糊の具を数箇所からずらす技法。強く振り切る、静かに振り下ろす、など動作を変化させると表情が生まれる。



必要な道具・素材



スタンピングの道具・素材
支持体 | 紙、画用紙(厚紙や和紙など)
糊材料 | 糊の具(白糊、アクリル糊の具など)
刷毛 | 筆、スポンジ、歯ブラシ、めん棒、筆など
道具類 | 筆、ローラーなどもあるよ!
画材 | 絵具、顔料、下書き用紙

注意・事故防止について
① 絵の具や糊が目に飛びかかると危険です。
② 絵の具や糊が鼻や口に入ると危険です。
③ 絵の具や糊が服や肌に入ると危険です。
④ 絵の具や糊が机や床に落ちると危険です。

目的や用途にも、糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたが異なります。
また、糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
糊の乾燥時間は糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって異なります。

制作工程

糊の具に糊を塗る。必要部分だけカットしたり、糊の手を付けたらすぐとれやすい。糊材そのものでは糊が乾かないような厚紙やスチレンボードなどでも、何となく糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する。また、さつまいも(糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する)やめん棒(糊が乾かないように糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する)など、加工しやすい材料を用いて独自の糊の具や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたを工夫する。

■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。
■ 糊の具に糊を塗る。糊の具の種類や糊の種類や糊の量や糊の塗りかたによって糊の乾燥時間が異なります。

▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 編集で場面の意味を変える

編集で場面の意味を変える

機材やその仕組み、撮影時の工夫について知り、表現に生かそう



【編集で場面の意味を変える】

▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 基礎的な技法資料 > 色立体 360度回転

色立体 360度回転

色の知育や表現の仕組み、配色の効果など、色彩への理解を深めよう。



【色立体 360°回転】

▶ご利用にあたって ▶推奨環境

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 現代美術を観る > 漫画家・山口つばさのペン入れを見よう

漫画家・山口つばさのペン入れを見よう



【漫画家・山口つばさのペン入れを見よう】

ご利用にあたって 掲載権者

新・高校生の美術 2

新・高校生の美術 2 > 近現代の日本の建築家 > 掲載建築物の地図／建築家の資料

掲載建築物の地図／建築家の資料

関連資料

- 【掲載建築物の地図】 >
- PDF (26.4KB) > 【ジョサイア・コンドル】
- PDF (26.4KB) > 【原野金吾】
- PDF (29.7KB) > 【片山深蔵】
- PDF (28KB) > 【伊藤忠次】
- PDF (27.7KB) > 【野口雨村】
- PDF (26.1KB) > 【原田五一】
- PDF (26.6KB) > 【レ・コルブジエ】
- PDF (28KB) > 【前川清光】
- PDF (28.3KB) > 【丹下健三】
- PDF (25.9KB) > 【磯 文郎】
- PDF (27.1KB) > 【黒川紀章】
- PDF (28.3KB) > 【空襲記録】
- PDF (27.4KB) > 【磯崎 新】
- PDF (28.3KB) > 【塚 広司】
- PDF (26.7KB) > 【伊藤嘉雄】
- PDF (26.3KB) > 【山本博昭】
- PDF (27.1KB) > 【磯 研吉】
- PDF (25.8KB) > 【妹島和世】

< メニュー



ジョサイア・コンドル

[イギリス・1852～1920]



辰野金吾 (たつの きんご)

[佐賀県・1854～1919]



片山東熊 (かたやまとうくま)

[山口県・1854～1917]



伊東忠太 (いとう ちゅうた)

[山形県・1867～1954]



野口孫市 (のぐちまごいち)

[兵庫県・1869～1915]



武田五一 (たけだごいち)

[広島県・1872～1938]



ル・コルビュジエ

[フランス・1887～1965]



前川國男 (まえかわくにょ)

[新潟県・1905～86]



丹下健三 (たんげけんぞう)

[大阪府・1913～2005]





伊東豊雄 (いとう とよお)
[韓国・1941～]



山本理顕 (やまもと りけん)
[中国・1945～]



隅 研吾 (くま けんご)
[神奈川県・1954～]



妹島和世 (せじま かずよ)
[茨城県・1956～]

